BOOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2023.01.31 作成

2023 年 1 月新聞書評に掲載された本

塩と運命の皇后(集英社文庫　ウ 15-1)

ニー・ヴォ 著
集英社
歴史収集の旅をする聖職者チーは、湖のほとりでひとりの老女に出会う。亡き皇后の侍女だという彼女に導かれ、チーは皇后が幽閉されていた屋敷を訪れた。そこで老女は、美しく残酷な真実と運命の物語を語り始め…。

産経新聞 2023/01/07

2022:9./ 270p
978-4-08-760780-2
¥902〔税込〕

嫉妬(ハヤカワ epi 文庫 106)

アニー・エルノー 著
早川書房
1960 年代、中絶が違法だったフランスで妊娠してしまった大学生の苦悩と葛藤、闇で行われていた危険な堕胎の実態を克明に描いた映画原作の「事件」と、元恋人への妄執に取り憑かれた自己を冷徹に描いた「嫉妬」を収録。

産経新聞 2023/01/07、朝日新聞 2023/01/21

2022:10./ 223p
978-4-15-120106-6
¥1,188〔税込〕

テレビはプロレスから始まった～全日本プロレス中継を作ったテレビマンたち～

福留崇広 著
イースト・プレス
初の民間放送テレビ局「日本テレビ」が 1953 年に本放送を開始した際、街頭テレビで大衆をくぎ付けにしたプロレス。当時のテレビマンたちに取材し、テレビの歴史を開けた全日本プロレス中継の真実に迫る。

産経新聞 2023/01/08

2022:10./ 397p
978-4-7816-2128-9
¥2,090〔税込〕

青年家康～松平元康の実像～(角川選書　662)

柴　裕之 著
KADOKAWA
家康は今川氏の人質ではなかった! 桶狭間敗戦後、青年期の家康=松平元康はいかに今川家の従属から独立し敵対していったのか。戦国大名と国衆との関係のあり方を踏まえ、真実の家康像を提示する。

産経新聞 2023/01/08

2022:9./ 211p
978-4-04-703711-3
¥1,870〔税込〕

●ご注文の際には，タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部（課）までお申し付けください。
●表示価格は 2023 年 1 月時点での税込み価格です。

MARUZEN-YUSHODO
丸善雄松堂株式会社 ［学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部］
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル
URL kw.maruzen.co.jp　　Email: marketing@maruzen.co.jp

音楽は絶望に寄り添う～ショスタコーヴィチはなぜ人の心を救うのか～

スティーブン・ジョンソン 著
河出書房新社
抑圧の中で生まれたショスタコーヴィチの楽曲が、孤独に沈む人を癒すのはなぜか。双極性障害に苦しんだ BBC の音楽番組プロデューサーが、音楽の持つ普遍的な力をゆるやかに紐解く。

産経新聞 2023/01/08

2022:10./ 221p
978-4-309-25686-3
¥2,915〔税込〕

この世の喜びよ

井戸川 射子 著
講談社
幼い娘たちとよく一緒に過ごしたショッピングセンター。喪服売り場で働く“あなた”は、フードコートの常連の少女と知り合い…。表題作など全 3 編を収録した小説集。『群像』掲載等を単行本化。

産経新聞 2023/01/08

2022:11./ 135p
978-4-06-529683-7
¥1,650〔税込〕

徳川十六将～伝説と実態～(角川新書　K-408)

菊地　浩之 著
KADOKAWA
多くの優秀な部将を抱えたことで有名な徳川家臣団に、凡将や知名度のない部将までがなぜ入ったのか。酒井忠次、井伊直政ら四天王に 12 人を加えた「徳川十六将」の成立の謎や、虚像と実像に迫る。

産経新聞 2023/01/08

2022:12./ 242p
978-4-04-082454-3
¥1,034〔税込〕

芦屋山手お道具迎賓館

高殿 円 著
淡交社
信長が愛した幻の茶道具「白天目茶碗」が、芦屋のとある古い館で掘り出された。ところがその白天目の付喪神であるシロさんは、なぜ自分が割れずに残ったのか思い出せず…? 茶道具“擬人化”小説。『なごみ』連載を加筆修正。

産経新聞 2023/01/08

2022:11./ 221p
978-4-473-04527-0
¥1,760〔税込〕

「悪の枢軸」ロシア・中国の正体～独裁者プーチンと習近平は何を考えているのか～

斎藤 勉／石 平 著
ＰＨＰ研究所
独裁者プーチンと習近平、2 人はいったい何が望みなのか。それはロシア・中国の歴史を辿ると見えてくる。ソ連崩壊をスクープした記者と、中国の未来を予言する評論家が激論を交わす。

産経新聞 2023/01/08

2022:12./ 269p
978-4-569-85383-3
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

黒衣の宰相～徳川家康の懐刀・金地院崇伝～<下>(朝日文庫　朝日時代小説文庫　ひ 23-3)

火坂雅志 著

朝日新聞出版

豊臣家滅亡を狙う家康の意を汲み、方広寺鐘銘事件を画策した金地院崇伝。幕府の中枢に食い込み、悪名と引き換えに目指したものとは? 怪僧の知られざる一面に迫る長編歴史小説。

産経新聞 2023/01/08

2022:12./ 455p
978-4-02-265080-1
¥990〔税込〕

黒衣の宰相～徳川家康の懐刀・金地院崇伝～<上>(朝日文庫　朝日時代小説文庫　ひ 23-2)

火坂雅志 著

朝日新聞出版

強靱な意志と磨き抜かれた叡智で、若くして京都南禅寺住職に出世した金地院崇伝。やがて徳川家康の招きにより駿府へ赴き、家康の知恵袋として幕政に参画するが…。怪僧の波乱の生涯を描いた長編歴史小説。

産経新聞 2023/01/08

2022:12./ 499p
978-4-02-265079-5
¥990〔税込〕

どうぶつどっちからよんでもたぶんぶた

絵本館

「鶴 ワルツ」「歌 牛 歌う」「きりん 念力」「ありくい クリア」「よしっ 犬 一緒」 動物づくしのどこか力の抜けた回文と、味わい深い絵が合体した楽しい絵本。

産経新聞 2023/01/08

2022:12./ 32p
978-4-87110-483-8
¥1,540〔税込〕

天才たちの未来予測図(マガジンハウス新書 008)

高橋弘樹 編

斎藤幸平／小島武仁 著

マガジンハウス

資本主義は、民主主義は、日本社会は、今後どう“変調”していくのか。4 人の若き天才が「これからの世界と日本はどうなっていくのか」という問いに“最先端の知見”を元に答える。web『日経テレ東大学』をもとに書籍化。

産経新聞 2023/01/14

2022:9./ 213p
978-4-8387-7509-5
¥1,100〔税込〕

今朝もあの子の夢を見た

野原 広子 著

集英社

山本タカシ、バツイチ独身、スーパー勤務の 42 歳。離婚して 10 年、子どもに一度も会えず…。離婚後の家族に切り込むコミック。『よみタイ』連載を加筆修正し書籍化。

産経新聞 2023/01/14

2022:11./ 161p
978-4-08-788082-3
¥1,320〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

古代の刀剣～日本刀の源流～(歴史文化ライブラリー　561)

小池　伸彦 著
吉川弘文館
日本刀の美しい反りや刃文はいつ、どのように生まれたのか。直刀から湾刀への変遷を、古代の鉄生産の実態や正倉院刀の調査を視野に入れ解明。現代刀匠の技術にも着目し、日本刀の源流に迫る。

産経新聞 2023/01/15

2022:12./ 6p,240p,5p
978-4-642-05961-9
¥1,980〔税込〕

それでも食べて生きてゆく 東京の台所

大平 一枝 著
毎日新聞出版
大切なものを失いながら、それでもみんな立ち上がり、今日もごはんを作っている-。台所と食を通じて人生を立て直した人々を描くノンフィクション。朝日新聞デジタル『&w』連載を大幅に加筆修正し、新たな取材を加え書籍化。

産経新聞 2023/01/15

2022:11./ 238p
978-4-620-32756-3
¥1,870〔税込〕

日本海軍連合艦隊の研究

木村 聡 著
北海道大学出版会
連合艦隊は、いかなる組織であったか。連合艦隊が関与した、大正、昭和戦前・戦中期の重要問題を叙述するとともに、連合艦隊が果たした役割や制度の変遷を平時から一貫してみてゆき、その因果関係や意義、影響を検証する。

産経新聞 2023/01/15

2022:12./ 9p,323p,7p
978-4-8329-6885-1
¥8,250〔税込〕

日本人になったウイグル人たちに中国がやっていること～ウイグル系日本人・在日ウイグル人の証言～

三浦小太郎／日本ウイグル協会 著
産経新聞出版
ウイグルの兄と連絡が取れない、電話は盗聴、公安が家族を人質に情報提供を要求。日本に帰化しても、中国による「ウイグル・ジェノサイド」は迫ってきて…。日本在住ウイグル人 34 人による証言録。『正論』連載を再構成。

産経新聞 2023/01/15

2022:12./ 270p
978-4-8191-1420-2
¥1,760〔税込〕

みるみるわかる「西洋絵画の見方」

壺屋 めり 著
小学館
伝統的な西洋絵画の規則や枠組みについて、イラストと美麗な作品図版を用いて、そのエッセンスを解説。当時の絵画にはどのような役割があったのか、描き方にはどのような秘密があるのかなど、興味深いテーマが満載。

産経新聞 2023/01/21

2022:10./ 159p
978-4-09-682293-7
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

102 歳、一人暮らし。～哲代おばあちゃんの心も体もさびない生き方～

石井 哲代／中国新聞社 著
文藝春秋
物事は良いほうに考える、喜びの表現は大きく-。健康で長生きするための習慣や「うまいこと老いる」極意を紹介。おいしい長生きレシピも収録する。自分らしく心をご機嫌に保つヒントが満載。『中国新聞』連載を書籍化。

産経新聞 2023/01/21

2023:1./ 157p
978-4-16-391646-0
¥1,540〔税込〕

プリテンド・ファーザー

白岩 玄 著
集英社
シングルファーザーとして 4 歳の娘を育てる 36 歳の恭平。ある日、高校の同級生・章吾と再会する。彼も 1 人で 1 歳半の息子を育てていた。互いの利害が一致したことから 4 人で暮らし始めるが…。『小説すばる』連載を加筆修正。

産経新聞 2023/01/22

2022:10./ 280p
978-4-08-771810-2
¥1,870〔税込〕

進路格差～<つまずく生徒>の困難と支援に向き合う～(朝日新書　887)

朝比奈なを 著
朝日新聞出版
生徒と保護者を食い物にする「教育困難大学」と「ブラック専門学校」、旧態依然とした「高校生の就活」の慣例…。さまざまな針路問題を指摘し、教育と労働のあり方を問い、戸惑う高校生と支援する人々の姿を描く。

産経新聞 2023/01/22

2022:11./ 250p
978-4-02-295197-7
¥935〔税込〕

東京あたふた族

益田ミリ 著
ミシマ社
あたふた族はせわしない。なにを隠そうわたしもその一員である…。コロナ前とコロナ禍の日々を綴った「東京あたふた族」、ひとり東京にやってきたころを振り返った「上京物語」など 3 部構成の、長篇小説のようなエッセイ集。

産経新聞 2023/01/22

2022:11./ 273p
978-4-909394-79-8
¥1,760〔税込〕

13 歳からのサイエンス～理系の時代に必要な力をどうつけるか～(ポプラ新書 233)

緑　慎也 著
ポプラ社
落ち葉に裏向きが多い理由、おがくずで断熱材を開発…。各種の科学コンテストで賞を獲得した、若者たちのオリジナリティ溢れる研究を紹介。ノーベル物理学賞受賞・梶田隆章に科学教育のあり方を尋ねたインタビューなども収録。

産経新聞 2023/01/22

2023:1./ 245p
978-4-591-17602-3
¥979〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ウクライナ美術への招待～ウクライナに愛をこめて～

海野弘 著
パイインターナショナル
教会建築やイコン美術、帝政ロシア期の美術、美術におけるウクライナ民族主義の高まり、20 世紀初頭の<ウクライナ・アヴァンギャルド>…。豊穣なウクライナ美術の世界を、歴史や文学、都市物語、多彩な図版とともにたどる。

産経新聞 2023/01/22、読売新聞 2023/01/29

2022:11./ 319p
978-4-7562-5691-1
¥2,750〔税込〕

<伊達騒動>の真相(歴史文化ライブラリー　560)

平川　新 著
吉川弘文館
仙台藩の存亡を二度も揺るがした伊達騒動。三代藩主綱宗の強制隠居や原田宗輔の刃傷沙汰など、新出史料を交え事件の真相に迫るとともに、演劇や文学で語られる老中陰謀説や原田忠臣説にも言及し、伊達騒動全史の解明に挑む。

産経新聞 2023/01/22、読売新聞 2023/01/29

2022:11./ 8p,290p
978-4-642-05960-2
¥2,200〔税込〕

香港少年燃ゆ

西谷 格 著
小学館
香港デモの現場で出会った 15 歳の少年・ハオロン。過激なデモに参加し、母親とは不仲の少年は、普段は釣りをするだけの怠惰な日々を過ごしていた-。少年の目線を通して激動の香港社会を見つめたルポルタージュ。

産経新聞 2023/01/29

2022:12./ 317p
978-4-09-388890-5
¥1,980〔税込〕

ウクライナ・ショック 覚醒したヨーロッパの行方

三好範英 著
草思社
ロシアによる侵略以降、世界はすっかり変わってしまった。日本が置かれているのは、ウクライナ、ポーランド、ドイツのどの立場だろうか。ベルリン特派員を長く務めた著者が、ウクライナ戦争の実態と背景を描き出す。

産経新聞 2023/01/29

2022:12./ 307p,4p
978-4-7942-2622-8
¥2,200〔税込〕

惜春

花村　万月 著
講談社
新宿のキャッチバーを辞め、騙されてタコ部屋暮らしを始めた。今ある現実をそのまま受け入れよう。旅人の寂しさに包み込まれて眠りに落ちた。ヒッピーもベトナム戦争も終わって何もない 70 年代を描く長篇小説。

朝日新聞 2023/01/07

2003:4./ 224p
978-4-06-211832-3
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

群青の湖(講談社文庫)

芝木　好子 著

講談社

琵琶湖のほとりにひとり嫁いできた瑞子は、旧家の重みと夫の背信から、幼い櫻子をつれて生まれ育った四谷に戻る。かつて美しい染めや織りの技を競いあった仲間にむかえられ、瑞子は群青の湖の永遠の神秘を、その片鱗でもよいから 1 枚の布に止めたいと願うのだった。

朝日新聞 2023/01/07

1993:12./ 440p
978-4-06-185551-9
¥683〔税込〕

湖猫、波を奔る

弟子　吉治郎 著

サンライズ出版

琵琶湖の神の島に黒猫が棲みついた。歳月は巡り、大人になった元飼い主の笛吹き少女、穴マニアの少年、丸子船船頭の娘のもとへ、「沈む」をテーマに BS テレビ局特別番組の取材班がやって来て…。

朝日新聞 2023/01/07

2012:7./ 335p
978-4-88325-481-1
¥1,760〔税込〕

負けんとき～ヴォーリズ満喜子の種まく日々～<上>(新潮文庫　た-51-11)

玉岡 かおる 著

新潮社

播磨小野藩最後の大名の娘・一柳満喜子は、幼くして母と死に別れ、封建的な父と愛人、異母姉妹と孤独な少女時代を過ごす。いつしか満喜子の胸には乳兄弟の佑之進がいたが結ばれず、傷心の中ひとりアメリカ留学を決意した-。

朝日新聞 2023/01/07

2014:8./ 391p
978-4-10-129621-0
¥737〔税込〕

負けんとき～ヴォーリズ満喜子の種まく日々～<下>(新潮文庫　た-51-12)

玉岡 かおる 著

新潮社

キリスト教伝道のため来日し、近江兄弟社を設立した W・メレル・ヴォーリズと満喜子は周囲の猛反対を受けながら結婚。次々と難関を乗り越える中、後にメレルが「天皇を守ったアメリカ人」と称される出来事が起きる-。

朝日新聞 2023/01/07

2014:8./ 455p
978-4-10-129622-7
¥825〔税込〕

青春ぱんだバンド(小学館文庫　た 25-1)

瀧上　耕 著

小学館

名門校に通うダメダメ高校生、秋祐は、大学受験の大事な夏休みに、地元のヤンキー成俊に脅されて、学園祭出演バンドを作ることに…。琵琶湖畔を舞台にした、高校 3 年生 5 人のバンドを巡る熱く切ないひと夏の物語。

朝日新聞 2023/01/07

2016:5./ 348p
978-4-09-406292-2
¥715〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

忍びの滋賀～いつも京都の日陰で～(小学館新書 360)

姫野 カオルコ 著
小学館
多くの人が琵琶湖が何県にあるのか知らない。「千葉」や「佐賀」と間違えられる。比叡山延暦寺は京都にあると思われている。鮒鮨の正しい食し方とは-。おどおどした作家が日本一スルーされる地味な出身県をユーモラスに語る。

朝日新聞 2023/01/07

2019:12./ 286p
978-4-09-825360-9
¥924〔税込〕

胡適文選<1>(東洋文庫 905)

胡　適 著
平凡社
中国の新文化運動の指導者の一人、胡適が、自身の思想と学問方法を最もよく理解できる文章を自選。1 は、思想の哲学的基礎をはじめ、人生観や中国と西洋の文化を論じたものなどを収録。

朝日新聞 2023/01/07

2021:9./ 350p
978-4-582-80905-3
¥3,740〔税込〕

塞王の楯

今村 翔吾 著
集英社
決して破られない石垣を造ろうとする石工の匡介。しかし、そこに立ちふさがるのは、どんな守りも打ち破るという彦九郎の砲。大津城を舞台に、信念をかけた職人の対決が幕を開ける。『小説すばる』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/01/07

2021:10./ 552p
978-4-08-771731-0
¥2,200〔税込〕

胡適文選<2>(東洋文庫　906)

胡　適 著
平凡社
中国の新文化運動の指導者の一人、胡適が、自身の思想と学問方法を最もよく理解できる文章を自選。2 は、主に国故整理に関する文章と解説、年表を収録する。

朝日新聞 2023/01/07

2021:12./ 351p
978-4-582-80906-0
¥3,740〔税込〕

ブスなんて言わないで<1>(アフタヌーン KC)

とある アラ子 著
講談社
「ブス」と言われ、学生時代にいじめられていた知子。大人になった彼女は、自分をいじめていた“美人”の同級生・梨花が美容家として成功していることを知り、怒りに震える。知子は、梨花への復讐を決意する――。

朝日新聞 2023/01/07

2022:5./ 160p
978-4-06-527907-6
¥748〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

お金に頼らず生きたい君へ～廃村「自力」生活記～(14 歳の世渡り術)

服部 文祥 著
河出書房新社
沢から水を引き、薪を集め、ソーラーで発電。夏は菜園、冬は狩猟…。山村の古民家で、ライフラインや食料を自給自足する暮らしを一から実践し、試行錯誤している登山家が、自身の体験を綴る。

朝日新聞 2023/01/07

2022:10./ 270p
978-4-309-61745-9
¥1,562〔税込〕

大江戸あにまる(集英社文庫 や 38-7)

山本 幸久 著
集英社
石樽藩の江戸留守居役の下で働く幸之進は、お人好しで失敗ばかり、剣術も苦手。ある日、草花や獣に目がない乾福助という変わり者が国許からやってきて…。『小説すばる』連載を大幅に改稿。

朝日新聞 2023/01/07

2022:9./ 316p
978-4-08-744436-0
¥748〔税込〕

進駐軍を笑わせろ!～米軍慰問の演芸史～

青木 深 著
平凡社
言葉の通じない遠い異国にやってきた米兵のために、娯楽を提供したのが、日本の芸人やダンサーや歌手だった。敵国だった彼らを前に、自身の身体と才覚とで鍛え上げた「芸」を披露し、戦後の混乱期を生き抜いた人々の姿を描く。

朝日新聞 2023/01/07

2022:10./ 359p
978-4-582-83909-8
¥4,180〔税込〕

野原(CREST BOOKS)

ローベルト・ゼーターラー 著
新潮社
たゆまぬ愛、癒えない傷、夫婦の確執、労働の悦び、戦争、汚職、ならず者の悲哀…。失意に終わる人生のなかにも、損なわれることのない人間の尊厳がある。オーストリアの作家が描く、魂の奥深くに触れる物語。

朝日新聞 2023/01/07

2022:10./ 245p
978-4-10-590184-4
¥2,200〔税込〕

キッチンが呼んでる!

稲田 俊輔 著
小学館
3 年ぶりのひとり暮らし、調味料を厳選し、調理器具を買い足しながら、「食べること」を追究する「わたし」の 27 日間を描いたフードラブ・ストーリー。『小説丸』配信を加筆し、書き下ろしを加えて書籍化。

朝日新聞 2023/01/07

2022:11./ 204p
978-4-09-386661-3
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

福猫屋～お佐和のねこだすけ～(講談社文庫　み 70-4)

三國　青葉　著

講談社

夫を亡くして塞ぎこむお佐和の家に、一匹の猫が迷い込む。福と名付けたその猫の面倒を見るうちに心癒され、お佐和は立ち直っていく。そんなある日、福に「ネズミ捕り」の依頼が舞い込み…。猫への恩返し商いの物語。

朝日新聞　2023/01/07

2022:11./ 218p
978-4-06-529856-5
¥682〔税込〕

田中耕太郎～闘う司法の確立者、世界法の探究者～(中公新書　2726)

牧原出　著

中央公論新社

戦前は東大教授、戦後は文部大臣と参院議員を歴任、最高裁長官を 10 年務め、国際司法裁判所判事に選出される…。学界・政界・司法の場で奮闘し、戦後日本を形作ったカトリックの自由主義者・田中耕太郎の生涯を綴る。

朝日新聞　2023/01/07

2022:11./ 8p,298p
978-4-12-102726-9
¥1,034〔税込〕

なぜ理系に女性が少ないのか(幻冬舎新書　よ-10-1)

横山広美　著

幻冬舎

高等教育機関における理系分野の女性の学生の割合が OECD 諸国では最下位の日本。女子生徒の理科・数学の成績は世界でもトップクラスなのに、なぜ理系を選択しないのか。綿密なデータ分析からその理由を明らかにする。

朝日新聞　2023/01/07

2022:11./ 234p
978-4-344-98676-3
¥1,034〔税込〕

せきれいの詩(幻冬舎時代小説文庫　む-12-2)

村木　嵐　著

幻冬舎

名家に生まれ文武に優れながらも浪人となった松平陸ノ介。尾張藩主である長兄・徳川慶勝に請われ家士となり、新政府のため藩内の粛清を行う。一方、弟の松平容保は朝敵の汚名を被り追い詰められていき…。

朝日新聞　2023/01/07

2022:12./ 366p
978-4-344-43254-3
¥847〔税込〕

胡適　政治・学問論集

佐藤　公彦　編

汲古書院

「文学改良芻議」や哲学論といった初期の重要な文章から、最後期の総括的な中国文化史論まで、政治時局論と思想学問論を中心に収録。胡適が陳独秀らと推進した新文学運動の根幹と、それからを読む。

朝日新聞　2023/01/07

2022:11./ 9p,407p,4p
978-4-7629-6722-1
¥5,280〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

宇宙生物学者プラテス<上>(路草 COMICS)

さらみ 著

トゥーヴァージンズ

海辺の町に住むナギは、高校最後の夏休みを前に漠然とした不満を抱えていた。昔は仲が良かった幼馴染のユータローとも、今はどこかギスギスしている。そんな時、夢の中で宇宙人のプラテスと出会う。彼との交流がもたらすものとは…?

朝日新聞 2023/01/07

2022:12./ 191p
978-4-910352-59-6
¥924〔税込〕

世界で最初に飢えるのは日本～食の安全保障をどう守るか～(講談社+α 新書 860-1C)

鈴木 宣弘 著

講談社

ウクライナ戦争で穀物欠乏、異常気象、原油高騰、円安による「買い負け」、泥沼の値上げ地獄…。深刻化した日本の食料安全保障の危機の「現在地」を克明に分析し、日本国民が飢餓を回避するためのヒントを探る。

朝日新聞 2023/01/07、東京・中日新聞 2023/01/29

2022:11./ 184p
978-4-06-530173-9
¥990〔税込〕

黒人音楽史～奇想の宇宙～

後藤護 著

中央公論新社

黒人音楽で忘れ去られたのは、知性・暗号・超絶技巧という真髄-。黒人霊歌からブルース、ジャズ、ファンク、ホラーコア、ヒップホップまで、黒人音楽の精神史をひもとき、驚異と奇想の世界へといざなうあらたな黒人音楽史。

朝日新聞 2023/01/07、日本経済新聞 2023/01/14

2022:10./ 366p
978-4-12-005585-0
¥2,750〔税込〕

オーウェルの薔薇

レベッカ・ソルニット 著

岩波書店

嘘と迷妄の時代に切り込んだ作家、ジョージ・オーウェルは、庭師、自然観察者でもあった。見過ごされてきた彼の庭への情熱に光をあて、その人生と思想を探り、自然と人間の過去と未来を問う。

朝日新聞 2023/01/07、日本経済新聞 2023/01/21

2022:11./ 8p,344p,43p
978-4-00-061566-2
¥3,630〔税込〕

ジョーン・ロビンソンとケインズ～最強の女性経済学者はいかにして生まれたか～

安達貴教 編

ナヒド・アスランベイグイ／ガイ・オークス 著

慶應義塾大学出版会

20 世紀を代表する女性経済学者、ジョーン・ロビンソンは、男性社会であるケンブリッジ大学の知識人の中で、いかにして自らの地位を確立し研究成果を認められたのか。ケインズを巡る人間模様を膨大な書簡から詳細に描き出す。

朝日新聞 2023/01/07、日本経済新聞 2023/01/28

2022:11./ 399p
978-4-7664-2840-7
¥5,940〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

聞く技術聞いてもらう技術(ちくま新書　1686)

東畑　開人 著
筑摩書房
「聞く」は声が耳に入ってくること。「聞く」の不全が社会を覆ういまこそ「聞く」を再起動しなければならない。カウンセラーが、聞くための小手先の技術から、聞いてもらうことに備わる深いちからまでを紹介。

朝日新聞 2023/01/07、毎日新聞 2023/01/14

2022:10./ 249p
978-4-480-07509-3
¥946〔税込〕

シベリア出兵～近代日本の忘れられた七年戦争～(中公新書　2393)

麻田　雅文 著
中央公論新社
ロシア革命後、反革命軍救出を名目にロシアへ派兵した日本は、バイカル湖畔まで占領。だが、パルチザンや赤軍に敗退、虐殺にも遭遇し…。増派と撤兵に揺れる内政、酷寒の地での 7 年間にわたる戦争の全貌を描く。

朝日新聞 2023/01/14

2016:9./ 6p,266p
978-4-12-102393-3
¥946〔税込〕

『キング』の時代～国民大衆雑誌の公共性～(岩波現代文庫　学術 414)

佐藤　卓己 著
岩波書店
雑誌の黄金期を築いた大日本雄弁会講談社の雑誌『キング』。同時代のメディア環境全体のなかでこの国民大衆誌の意味を捉え直し、戦時体制下において「雑誌王」野間清治と「講談社文化」とが果たした役割を解き明かす。

朝日新聞 2023/01/14

2020:1./ 23p,556p,13p
978-4-00-600414-9
¥1,936〔税込〕

風よ鳳仙花の歌をはこべ～関東大震災・朝鮮人虐殺・追悼のメモランダム～増補新版

ほうせんか 著
ころから
「関東大震災時に虐殺された朝鮮人の遺骨を発掘し追悼する会」と一般社団法人「ほうせんか」が、10 年にわたり掘り起こした、関東大震災を体験した人たちの証言を収録。1992 年からの約 30 年間の活動報告もまとめる。

朝日新聞 2023/01/14

2021:7./ 279p
978-4-907239-53-4
¥2,200〔税込〕

ムーミンとトーベ・ヤンソン～自由を愛した芸術家、その仕事と人生～

ポール・グラヴェット 著
河出書房新社
「ムーミン」の生みの親トーベ・ヤンソンは、複数のマイノリティ要素をもちながらも、絵画、風刺画、漫画、小説と多彩なフィールドで才能を発揮した。その波乱の人生を、貴重な資料をもとに紐とくビジュアルブック。

朝日新聞 2023/01/14

2022:10./ 111p
978-4-309-29199-4
¥2,475〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ゾルゲ・ファイル～1941/1945～(新資料が語るゾルゲ事件 1)

アンドレイ・フェシュン 編
アンドレイ・フェシュン 著
みすず書房
「独ソ戦開戦」「日本軍の南進」をスクープしたスパイ・ゾルゲ。ソ連邦崩壊後に機密解除された 218 点の資料から、生々しい赤軍諜報戦と外交交渉の実態を明かす。

朝日新聞 2023/01/14

2022:10./ 7p,389p
978-4-622-09514-9
¥7,040〔税込〕

仁明天皇(人物叢書 新装版 通巻 317)

遠藤 慶太 著
吉川弘文館
平安前期の天皇、仁明天皇。華美を好む反面、幼少より病弱で医薬に傾倒した。承和の変では、淳和系皇統を排除し、自身の子を皇太子につけ皇統を独占した。のちに聖主と仰がれることになる天皇の生涯を描く。

朝日新聞 2023/01/14

2022:11./ 16p,250p
978-4-642-05310-5
¥2,310〔税込〕

メタモルフォーゼの哲学

エマヌエーレ・コッチャ 著
勁草書房
イモムシとチョウは形態が異なっていても同じ生きものである。あらゆる生きものの身体は「ただ一つの同じ生」が入り込む、一時的で過渡的な形態なのだ。哲学者がひらく生物種、土地、世代を超えたメタモルフォーゼの思考。

朝日新聞 2023/01/14

2022:10./ 5p,211p,4p
978-4-326-15484-5
¥3,300〔税込〕

君のクイズ

小川哲 著
朝日新聞出版
クイズ番組の決勝に出場した三島玲央は、対戦相手が問題が読まれぬうちにボタンを押し正解し、優勝を果たすという不可解な事態を訝しむ。決勝を 1 問ずつ振り返る三島はやがて…。『小説トリッパー』掲載を加筆修正。

朝日新聞 2023/01/14

2022:10./ 190p
978-4-02-251837-8
¥1,540〔税込〕

若き日に薔薇を摘め(河出文庫 せ 5-4)

瀬戸内 寂聴／藤原 新也 著
河出書房新社
生と死、愛と孤独、老いと若さ、恋、仕事、家族、そして無縁社会…。来し方行く末に思いをめぐらしつつ、作家同士、旧知の 2 人が交わす叡智に満ちた 29 の往復書簡。対談も収録。

朝日新聞 2023/01/14

2022:12./ 253p
978-4-309-41938-1
¥1,045〔税込〕

体はゆく～できるを科学する<テクノロジー×身体>～

伊藤 亜紗 著
文藝春秋
「できなかったことができる」とは何だろう? ピアノや野球の技能習得のメカニズムからリハビリへの応用まで、先端テクノロジーが見せる体の「奔放な」可能性について考察する。

朝日新聞 2023/01/14

2022:11./ 245p
978-4-16-391631-6
¥1,760〔税込〕

植物の形には意味がある(角川ソフィア文庫 K141-1)

園池 公毅 著
KADOKAWA
植物にはさまざまな形のものがあり、それらには全て植物が生きるためのしくみが隠されている。葉や茎の形、花の色など、植物の形の裏に隠された意味を考える。

朝日新聞 2023/01/14

2022:12./ 248p
978-4-04-400727-0
¥1,056〔税込〕

大塩平八郎の乱～幕府を震撼させた武装蜂起の真相～(中公新書 2730)

藪田貫 著
中央公論新社
江戸後期の大坂で、私塾の門弟らと「救民」を掲げて決起した大塩平八郎の真の目的は何だったのか。密かに江戸へ送った「建議書」で何を訴えようとしたのか。近年発見の史料もふまえ、幕府を震撼させた事件の全容に迫る。

朝日新聞 2023/01/14

2022:12./ 3p,265p
978-4-12-102730-6
¥968〔税込〕

死んでたまるか～団鬼六自伝エッセイ～(ちくま文庫 た 99-1)

団 鬼六 著
筑摩書房
「SM 小説の大家」「文学界の異端児」と称された不世出の作家・団鬼六。戦中の少年期から、作家として駆け出した青年期、病すら受け入れ筆をふるった晩年に至るまで、その無二の人生をしなやかな言葉で綴る。

朝日新聞 2023/01/14

2023:1./ 249p
978-4-480-43857-7
¥880〔税込〕

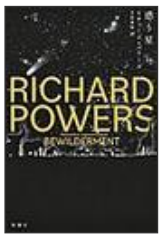
親愛なるレニー～レナード・バーンスタインと戦後日本の物語～

吉原 真里 著
アルテスパブリッシング
40 年以上バーンスタインにファンレターを送り続けた天野和子。バーンスタインと激しい恋に落ち、数多くのラヴレターを送った橋本邦彦。ふたりが綴った数々の手紙を通して、芸術と愛に生きた巨匠バーンスタインの実像に迫る。

朝日新聞 2023/01/14、日本経済新聞 2023/01/14、毎日新聞 2023/01/28

2022:10./ 427p,15p
978-4-86559-265-8
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



惑う星

リチャード・パワーズ 著
新潮社
地球外生命を探る研究者シーオの幼い息子ロビンは、母アリッサの急逝で情緒不安定になっていた。シーオは、知人の実験に息子を参加させ、生前のアリッサの脳のスキャンデータを元に、母の感情をロビンに追体験させるが…。

朝日新聞 2023/01/14、毎日新聞 2023/01/14

2022:11./ 387p
978-4-10-505877-7
¥3,410〔税込〕

地形で見る江戸・東京発展史(ちくま新書　1693)

鈴木　浩三 著
筑摩書房
江戸・東京は自然地形を活かしたまちづくりがされてきた。古今の地図で確認できる土地利用の変化から、河川・水道・道路などインフラ発展の歴史を叙述しつつ、江戸・東京の発展プロセスを図解する。

朝日新聞 2023/01/14、毎日新聞 2023/01/28

2022:11./ 280p,6p
978-4-480-07517-8
¥1,100〔税込〕

オロロ畑でつかまえて(集英社文庫)

荻原　浩 著
集英社
朝日新聞 2023/01/21

2001:10./ 231p
978-4-08-747373-5
¥616〔税込〕

神様からひと言(光文社文庫)

荻原　浩 著
光文社
朝日新聞 2023/01/21

2005:3./ 449p
978-4-334-73842-6
¥754〔税込〕

黒地の絵　改版(新潮文庫)

松本 清張 著
新潮社
朝鮮戦争のさなか、米軍黒人兵の集団脱走事件の起った基地小倉を舞台に、妻を犯された男のすさまじいまでの復讐を描く「黒地の絵」。美術界における計画的な贋作事件をスリリングに描きながら、形骸化したアカデミズム、閉鎖的な学界を糾弾した「真贋の森」。他に、一画家のなにげない評伝から恐るべき真実を探り当てる「装飾評伝」など 7 編を収める。

朝日新聞 2023/01/21

2003:5./ 502p
978-4-10-110903-9
¥880〔税込〕

タイガーズ・ワイフ(CREST BOOKS)

テア・オブレヒト 著
新潮社
自分は死なないと嘯き、祖父に賭けを挑む男と、動物園から逃げ出したトラと心を通わせた少女。事実とも幻想ともつかない 2 つの物語が、語られることのなかった亡き祖父の人生を浮き彫りにする。

朝日新聞 2023/01/21

2012:8./ 382p
978-4-10-590096-0
¥2,420〔税込〕

てぶくろ～ウクライナ民話～(傑作絵本劇場　ロシアの絵本)

エウゲーニー・M.ラチョフ、うちだ　りさこ 著
福音館書店
雪の降り積もる森で、おじいさんがてぶくろを片方落としました。すると、ねずみ、かえる、うさぎたちが、てぶくろの中に次々ともぐりこみ…。ウクライナの昔話を迫力のある絵で楽しめる大型絵本。読み聞かせ用テキスト付き。

朝日新聞 2023/01/21

2020:1./ 15p
978-4-8340-8529-7
¥10,560〔税込〕

人新世の「資本論」(集英社新書　1035)

斎藤 幸平 著
集英社
気候変動、コロナ禍…。人類の経済活動が地球を破壊する「人新世」=環境危機の時代。唯一の解決策は、潤沢な脱成長経済である-。晩期マルクスの思想をヒントに、危機の解決策と豊かな未来社会への道筋を具体的に描きだす。

朝日新聞 2023/01/21

2020:9./ 375p
978-4-08-721135-1
¥1,122〔税込〕

アマゾンの倉庫で絶望し、ウーバーの車で発狂した～潜入・最低賃金労働の現場～(光文社未来ライブラリー M フ 1-1)

ジェームズ・ブラッドワース 著
光文社
何気ないワンクリックに翻弄される労働者たちの現場から見えてきたのは、資本主義、管理社会の極地だった-。アマゾンの倉庫からウーバーのタクシーまで、英国で“最底辺”の労働に就いたジャーナリストがその体験を報告する。

朝日新聞 2023/01/21

2022:6./ 386p
978-4-334-77056-3
¥1,210〔税込〕

「私」という男の生涯

石原 慎太郎 著
幻冬舎
石原慎太郎が、「自分と妻」の死後に出版する目的で書いた自伝。弟・裕次郎や家族への愛と感謝、文学・政治への情熱と悔恨、通り過ぎていった女たちへの思慕と感傷などを綴る。

朝日新聞 2023/01/21

2022:6./ 341p
978-4-344-03960-5
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ぼくはウーバーで捻挫し、山でシカと闘い、水俣で泣いた

斎藤　幸平 著
KADOKAWA
うちに閉じこもらずに、他者に出会うことが、「想像力欠乏症」を治すための方法である-。統計やデータからは見えない、現場の「声」から未来を考える。『毎日新聞』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2023/01/21

2022:11./ 220p
978-4-04-400715-7
¥1,650〔税込〕

先住民とアメリカ合衆国の近現代史

ロクサーヌ・ダンバー＝オルティス 著
青土社
アメリカが行ってきた先住民に対するジェノサイドは、ほとんど歴史に残されていない。歴史家で活動家の著者が、先住民の視点から米国の歴史を語り、先住民に対する政策がいかに植民地主義的であったかを明らかにする。

朝日新聞 2023/01/21

2022:12./ 335p,8p
978-4-7917-7502-6
¥3,080〔税込〕

まあたらしい一日

いしいしんじ 著
ＢＬ出版
毎朝、今日はどんな日か私に聞くおばあちゃん。私が答えをかえすと「まあたらしい一日ね」とほほえみ…。「きょうはなんの日?」など 27 の愛おしい小さな物語とユーモラスな絵が響き合い、やさしさあふれる世界へと誘う一冊。

朝日新聞 2023/01/21

2022:11./ 77p
978-4-7764-1065-2
¥2,420〔税込〕

ミセス・ハリス、パリへ行く(角川文庫　キ 13-2)

ポール・ギャリコ 著
KADOKAWA
もうすぐ 60 歳の家政婦ハリスは、ある日、美しいクリスチャン・ディオールのドレスに出会い、パリでドレスを仕立てようと決意し…。何歳になっても夢をあきらめない勇気と奇跡の物語。2022 年公開映画の原作。

朝日新聞 2023/01/21

2022:10./ 221p
978-4-04-113024-7
¥990〔税込〕

ヤラセと情熱～水曜スペシャル「川口浩探検隊」の真実～

プチ鹿島 著
双葉社
世界の未知の生物や未踏の秘境を求めた 70 年代後半～80 年代の TV 番組「川口浩探検シリーズ」。ヤラセだとのそしりを受け、一笑に付されてきた探検隊の「真実」を捜し求め、当事者の証言からテレビの本質に踏み込む。

朝日新聞 2023/01/21

2022:12./ 331p
978-4-575-31760-2
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ジャクソンひとり

安堂 ホセ 著
河出書房新社
着ていたTシャツに隠されたQRコードから男が磔にされた動画が流出し、職場で嫌疑をかけられたジャクソン。仕方なく独自の調査を始めると、動画の男は自分だと主張する3人の男に出会い…。『文藝』掲載を書籍化。

朝日新聞 2023/01/21

2022:11./ 152p
978-4-309-03084-5
¥1,540〔税込〕

ブラッドランド～ヒトラーとスターリン大虐殺の真実～<上>(ちくま学芸文庫　ス29-1)

ティモシー・スナイダー 著
筑摩書房
ウクライナ、ベラルーシ、ポーランド、バルト三国。第2次世界大戦時、ドイツとソ連に挟まれた地で敢行された民間人の大量虐殺。その事実はなぜ封印されたのか。犠牲者たちの手紙や日記を掘り起こし、真実を明らかにする。

朝日新聞 2023/01/21

2022:11./ 473p
978-4-480-51144-7
¥1,760〔税込〕

ブラッドランド～ヒトラーとスターリン大虐殺の真実～<下>(ちくま学芸文庫　ス29-2)

ティモシー・スナイダー 著
筑摩書房
ウクライナ、ベラルーシ、ポーランド、バルト三国。第2次世界大戦時、ドイツとソ連に挟まれた地で敢行された民間人の大量虐殺。その事実はなぜ封印されたのか。犠牲者たちの手紙や日記を掘り起こし、真実を明らかにする。

朝日新聞 2023/01/21

2022:11./ 520p
978-4-480-51145-4
¥1,760〔税込〕

絶筆

石原 慎太郎 著
文藝春秋
2022年2月1日に死去した石原慎太郎のラスト作品集。限りなくピュアな初恋の記憶を描いた「遠い夢」、死後公開された「死への道程」など、単行本未収録の全6作品を収録する。四男の画家・石原延啓による解説付き。

朝日新聞 2023/01/21

2022:11./ 141p
978-4-16-391620-0
¥1,650〔税込〕

私たちの歴史を癒すということ～ワイタンギ条約の課題～

ロバート・コンセダイン／ジョアナ・コンセダイン 著
影書房
先住民族マオリが1840年に英国と結んだワイタンギ条約以降、ニュージーランドの植民地化はどう進んだか。その歴史的経緯と築かれた差別構造を検証しつつ、分断された社会の傷を癒やす著者の取り組みを紹介する。

朝日新聞 2023/01/21

2022:11./ 444p
978-4-87714-493-7
¥3,520〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

うま～馬に乗ってこの世の外へ～

井上 ひさし 著
集英社
時は 156…年。羽前の国、小松郷。村の有力者、松左エ門は、黄金のくそをするという馬を無理やり買い上げるが…。第一稿昭和 34 年の井上ひさしの未発表戯曲。主人公・太郎の悪漢ぶりが痛快なピカレスク物語。

朝日新聞 2023/01/21

2022:12./ 214p
978-4-08-771825-6
¥1,870〔税込〕

カオスゲーム<1>(アフタヌーン KC)

山嵜 大輝 著
講談社
正義に燃える週刊誌記者・鈴木蘭は、政治家が裏社会と繋がっているという特ダネを入手する。だが、裏社会の人間に目を付けられてしまい、命の危機に……! しかし、裏社会よりも危険な「何か」が、そこに迫ってきていた。

朝日新聞 2023/01/21

2022:11./ 224p
978-4-06-529601-1
¥792〔税込〕

成熟スイッチ(講談社現代新書　2683)

林 真理子 著
講談社
人は年をとると外見だけではなく内面も変化していく。よい方に変わっていくと、精神や人間性が成熟へと向かう。自身の成熟の現在地を明かしながら、「人間関係の心得」「世間を渡る作法」など 4 つの成熟のテーマについて語る。

朝日新聞 2023/01/21

2022:11./ 182p
978-4-06-530274-3
¥924〔税込〕

対論 1968(集英社新書 1144)

外山 恒一 編
笠井 潔／絓 秀実 著
集英社
全共闘に代表される若者たちの社会変革の運動が最高潮に達した「1968 年」。あの叛乱は何だったのか。現在の日本に何をもたらしたのか-。<論敵>の批評家同士による、最初で最後の<対話>。

朝日新聞 2023/01/21

2022:12./ 269p
978-4-08-721244-0
¥1,100〔税込〕

笑え!ドイツ民主共和国～東ドイツ・ジョークでわかる歴史と日常～

伸井　太一、鎌田　タベア 著
教育評論社
人びとの間で密かに共有された“笑い”から東ドイツ社会を解剖し、その歴史や生活を紹介。ドイツ語原文&単語解説付きで、語学学習もできる。図版資料を多数掲載。

朝日新聞 2023/01/21

2022:12./ 222p
978-4-86624-065-7
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ゼロからの『資本論』(NHK 出版新書　690)

斎藤 幸平 著
ＮＨＫ出版
マルクスの手稿研究で見出した「物質代謝」の観点から「資本論」のエッセンスを丁寧に解説。さらに、ソ連や中国とも異なる「脱成長コミュニズム」の未来像までを見通す。「NHK100 分 de 名著」のテキストに加筆し書籍化。

朝日新聞 2023/01/21

2023:1./ 237p
978-4-14-088690-8
¥1,023〔税込〕

俺が公園でペリカンにした話

平山夢明 著
光文社
流浪先で出会うのは、嘘吐き、偽善者、威張り屋、無気力。魂がアベコベな奴ばかり。だがヒッチを続けて、他人はどうでも良いって判ったんだ…。平山夢明、異次元の真骨頂。『小説宝石』掲載をまとめて単行本化。

朝日新聞 2023/01/21

2022:12./ 579p
978-4-334-91503-2
¥2,640〔税込〕

ワンダーランド急行

荻原浩 著
日経ＢＰ社
会社をサボり、スーツで山に登った 40 歳の野崎修作。「日常」に戻ると、街も家も会社も、何かおかしい。どこかで聞いたような疫病が世界を分断し、新宗教の持つ票があらゆる選挙を左右し…。『日本経済新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2023/01/21、日本経済新聞 2023/01/21

2022:12./ 441p
978-4-296-11605-8
¥2,090〔税込〕

ネオ・ダダの逆説～反芸術と芸術～

菅章 著
みすず書房
1960 年代に大暴れした前衛美術集団<ネオ・ダダ>とは何だったのか。赤瀬川原平ら若きアーティストが結集し、破壊と創造を繰り返した先駆的活動を検証し、美術史としてとらえ直す本格評論。

朝日新聞 2023/01/21、毎日新聞 2023/01/21

2022:11./ 331p,7p
978-4-622-09093-9
¥6,050〔税込〕

ネイティヴ・サン～アメリカの息子～(新潮文庫　ラ-20-1)

リチャード・ライト 著
新潮社
1930 年代、大恐慌下のシカゴ。アフリカ系の貧しい青年ビッガー・トマスは、白人女性を誤って殺害してしまう。発覚を恐れて首を斬り、遺体を暖房炉に押し込んだその時、彼の運命が激しく変転する逃走劇が始まった-。

朝日新聞 2023/01/25

2023:1./ 786p
978-4-10-240261-0
¥1,210〔税込〕

荒地の家族

佐藤 厚志 著
新潮社
人が住み、出ていく。生まれ、死んでいく-。あの災厄から 10 年余り。生活も仕事道具も攫われ、妻を喪った男はその地を彷徨い続けた。仙台在住の書店員作家が、止むことのない渇きと痛みを描く。『新潮』掲載を単行本化。

朝日新聞 2023/01/25

2023:1./ 158p
978-4-10-354112-7
¥1,870〔税込〕

憲法 9 条へのカタバシス

木庭　顕 著
みすず書房
精緻な 9 条 2 項論、ソクラテス・メソッドを駆使して説く憲法改正問題、近代市民社会の基底を問う漱石・鷗外論…。ローマ法を専門とする碩学が、9 条の構造をクリアに見透かす。『法律時報』ほか掲載に書き下ろしを加え書籍化。

朝日新聞 2023/01/28

2018:4./ 217p
978-4-622-08673-4
¥5,060〔税込〕

ウクライナ戦争と世界のゆくえ(U.P.plus)

池内　恵／宇山　智彦／川島　真／小泉　悠／鈴木　一人／鶴岡　路人／森　聡 著
東京大学出版会
ロシア、欧州、アメリカ、中国、中央アジア…。ウクライナ戦争が世界に突きつけた様々な課題や問題について、気鋭の研究者が最新の知見をもとに、多角的かつ「変わらないものと変わりつつあるもの」に焦点を当てて分析する。

朝日新聞 2023/01/28

2022:8./ 128p
978-4-13-033305-4
¥1,870〔税込〕

教養としての「ラテン語の授業」～古代ローマに学ぶリベラルアーツの源流～

ハン・ドンイル 著
ダイヤモンド社
ラテン語の名言を読み解きながら、文法、ラテン語を母語とする国々の歴史、文化、法律などに焦点を当て、ラテン語を通して見える世界の面白さを幅広くとり上げる。ソウルの西江大学「初級・中級ラテン語」の講義内容を書籍化。

朝日新聞 2023/01/28

2022:9./ 275p
978-4-478-11328-8
¥1,980〔税込〕

「地域の価値」をつくる～倉敷・水島の公害から環境再生へ～

除本 理史／林 美帆 著
東信堂
戦後に重化学工業を誘致したことで公害問題による健康被害が深刻化し、地域社会に大きな軋轢が生まれた岡山県倉敷市・水島地域。公害問題の歴史の「影」に、地域の新たな価値という「光」を当てるその取り組みを紹介する。

朝日新聞 2023/01/28

2022:10./ 11p,194p
978-4-7989-1801-3
¥1,980〔税込〕

流されて生きる生き物たちの生存戦略～驚きの渓流生態系～

吉村真由美 著
築地書館
森とともに、陸域の自然界を代表する生態系である渓流。土と植物と密接な関係をもち、さまざまな生き物が暮らしている。生き物たちの、水流の中で生きるために備わった形、行動に迫るとともに、渓流の成り立ちを学ぶ。

朝日新聞 2023/01/28

2022:11./ 225p 図版 16p
978-4-8067-1644-0
¥2,640〔税込〕

異種移植～医療は種の境界を超えられるか～

山内一也 著
みすず書房
動物の臓器を人に移植する。その挑戦は、超急性拒絶反応や未知のウイルス感染症の出現リスクなどの難題に何度も阻まれてきた。異種移植が求められてきた背景を振り返りながら、その技術的課題と解決策、倫理的課題を展望する。

朝日新聞 2023/01/28

2022:11./ 215p,20p
978-4-622-09528-6
¥3,300〔税込〕

東ドイツある家族の物語～激動のドイツを生きた、四代のファミリーヒストリー～

マクシム・レオ 著
アルファベータブックス
アウシュヴィッツで殺害された曾祖父。亡命後ジャーナリストになった祖父。ナイーヴで社会主義の理想に忠実だった母。常に東ドイツに批判的だった父。そして政治に無関心だった私…。家族四代の肖像を通して描くドイツ現代史。

朝日新聞 2023/01/28

2022:11./ 342p
978-4-86598-089-9
¥2,750〔税込〕

あなたがおなかのなかにいたとき

せきやゆうこ／嶽まいこ 著
アリス館
うまれるまでの 10 か月って、どんな世界? 胎児の成長をフルーツなどの重さになぞらえながら、母と子両方の状態を紹介した、生命の不思議にあふれる絵本。詳しい解説も掲載。

朝日新聞 2023/01/28

2022:11./ 41p
978-4-7520-1031-9
¥1,760〔税込〕

灰燼のなかから～20 世紀ヨーロッパ史の試み～<下>

コンラート ヤーラオシュ 著
人文書院
繁栄の輝きと破壊の悲惨を往還する 20 世紀ヨーロッパを描く、トランスナショナルな歴史の試み。下は、復興、冷戦、植民地帝国の終焉、統合、そして世紀末の新たな挑戦を俯瞰する。

朝日新聞 2023/01/28

2022:11./ 434p
978-4-409-51096-4
¥6,050〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

灰燼のなかから～20 世紀ヨーロッパ史の試み～<上>

コンラート ヤーラオシュ 著
人文書院
繁栄の輝きと破壊の悲惨を往還する 20 世紀ヨーロッパを描く、トランスナショナルな歴史の試み。上は、進歩の夢敗れ、二つの大戦と世界大恐慌に崩れ落ちた世紀前半を取り上げる。

朝日新聞 2023/01/28

2022:11./ 408p
978-4-409-51095-7
¥6,050〔税込〕

この世界の問い方～普遍的な正義と資本主義の行方～(朝日新書　886)

大澤真幸 著
朝日新聞出版
ロシアはなぜウクライナに侵攻したのか。中国の権威主義的資本主義はアメリカを超えるか。流動化する世界の中で、日本はどうすべきか-。世界をゆるがす問題の核心に斬りこみ、「目指すべき未来の姿」を大澤社会学が問う。

朝日新聞 2023/01/28

2022:11./ 303p
978-4-02-295195-3
¥1,001〔税込〕

貸本屋おせん

高瀬 乃一 著
文藝春秋
文化年間、女だてらに貸本屋を営む「おせん」。時に幕府の狗に目をつけられ、様々な事件に巻き込まれながらも、書物への愛を胸に、大店を夢見る姿を描く連作集。『オール讀物』掲載に書きおろしを加えて単行本化。

朝日新聞 2023/01/28

2022:11./ 233p
978-4-16-391627-9
¥1,980〔税込〕

11 文字の檻～青崎有吾短編集成～(創元推理文庫 M あ 16-5)

青崎 有吾 著
東京創元社
JR 福知山線脱線事故を題材にした「加速してゆく」、全面ガラス張りの屋敷で起きた不可能殺人を描く本格推理「噤ケ森の硝子屋敷」など、全 8 編を収録した青崎有吾の短編集。著者による各話解説も掲載。

朝日新聞 2023/01/28

2022:12./ 355p
978-4-488-44315-3
¥792〔税込〕

K-POP バックステージパス

古家正亨 著
イースト・プレス
韓流スター、K-POP アイドルの信頼を一身に集める男、古家正亨。日本の K-POP ブームを間近で見てきた人気 MC が、自身の半生を振り返り、「韓国」に出会い、韓国と日本の架け橋になるまでを綴る。

朝日新聞 2023/01/28

2022:12./ 239p
978-4-7816-2145-6
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

エツコさん

昼田弥子／光用千春 著

アリス館

友達の家に向かうとちゅう、迷子になった樹。声をかけたのは、「エツコ先生」と呼ばれる認知症のおばあさんで…。エツコさんと 5 人の小学生の、少し不思議で幸せに満ちた「記憶」をめぐる連作短編集。

朝日新聞 2023/01/28

2022:12./ 199p
978-4-7520-1021-0
¥1,540〔税込〕

ガリバーのむすこ

マイケル・モーパーゴ 著

小学館

アフガニスタンの少年オマールは戦争で難民となり、母親と親戚のいるイギリスを目指す。しかし、オマールがたどりついたのは「ガリバー旅行記」に出てくる小人の国リリパット。そこでオマールは友情をはぐくむが…。

朝日新聞 2023/01/28

2022:12./ 239p
978-4-09-290646-4
¥1,650〔税込〕

金融人類学への誘い～トレーダーたちの日本と夢の終わり～(<叢書>人類学の転回)

宮崎広和 著

水声社

アジア通貨危機やリーマンショック、東日本大震災など一連の金融危機の中に身を置いた金融プロフェッショナルたちの思考と実践の軌跡を描く。1998 年から 2011 年まで、主に東京で行ったフィールド調査のエスノグラフィ。

朝日新聞 2023/01/28

2022:11./ 300p
978-4-8010-0673-7
¥3,520〔税込〕

絞首商會(講談社文庫 ゆ 10-1)

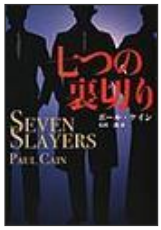
夕木 春央 著

講談社

大正の東京。秘密結社「絞首商會」との関わりが囁かれる村山博士の怪死事件が起きる。頭脳明晰で見目麗しく、厭世家の元泥棒・蓮野が見つけた 4 人の容疑者の共通点は、事件解決に熱心すぎることだった-。

朝日新聞 2023/01/28

2023:1./ 587p
978-4-06-530770-0
¥1,111〔税込〕



七つの裏切り(扶桑社ミステリー ケ 11-1)

ポール・ケイン 著

扶桑社

別人と間違われて呼び止められた男。そのまま倒れこんでしまった相手をタクシーに乗せたものの、彼はすでに絶命していて…。「名前はブラック」をはじめ、ノワール映画のような全 7 編を収録。

朝日新聞 2023/01/28

2022:12./ 351p
978-4-594-09088-3
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

「おふくろの味」幻想～誰が郷愁の味をつくったのか～(光文社新書　1240)

湯澤規子 著
光文社
誰もが一度は聞いたことがある「おふくろの味」とは何を指しているのか。なぜそれは時に女性たちをいらだたせるのか。社会と時代を丹念に読み解き、「おふくろの味」が誕生した経緯とその正体を探る。

朝日新聞 2023/01/28

2023:1./ 277p
978-4-334-04647-7
¥1,034〔税込〕

琉球切手を旅する～米軍施政下沖縄の二十七年～

与那原恵 著
中央公論新社
沖縄の美術家が描いた切手が、人々の「言葉」を運んでいた-。米軍による占領、琉球政府発足、復帰運動を経て返還合意へ。激動の時代、琉球・沖縄の文化と自然を世界に伝えた切手を巡る物語。『中央公論』掲載に加筆し書籍化。

朝日新聞 2023/01/28、読売新聞 2023/01/29

2022:12./ 253p
978-4-12-005605-5
¥2,090〔税込〕

鼓直句集

鼓直 著
水声社
雪解よと聞いて窓引く朝かな　かまきりの子のわらわらと草の陰　かの人に文をやりたし筆りんどう　ひたすらに古本めくり去年今年　翻訳家・鼓直の句集。

朝日新聞 2023/01/29

2022:12./ 131p
978-4-8010-0678-2
¥2,750〔税込〕

かがみの孤城<上>(ポプラ文庫　つ 1-1)

辻村　深月 著
ポプラ社
学校での居場所をなくし、部屋に閉じこもっていた“こころ”の目の前で、鏡が光り始めた。輝く鏡をくぐり抜けた先の世界には、似た境遇の 7 人が集められていた。秘めた願いを叶えるため、7 人は城で隠された鍵を探す-。

東京・中日新聞 2023/01/07

2021:3./ 411p
978-4-591-16971-1
¥858〔税込〕

かがみの孤城<下>(ポプラ文庫　つ 1-2)

辻村　深月 著
ポプラ社
部屋の鏡をくぐり抜けた先にある城に通う“こころ”。そこで出会った、境遇の似た仲間 7 人それぞれの事情が少しずつ明らかになるなか、城の終わりの日が近づいてくる。鏡は見つかるのか、果たしてこの中の誰の願いが叶うのか?

東京・中日新聞 2023/01/07

2021:3./ 365p
978-4-591-16972-8
¥858〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

君は君の人生の主役になれ(ちくまプリマー新書　412)

鳥羽　和久 著
筑摩書房
同調圧力、善が偽装された世界、自分の不満を子どものせいにする親…。十代の若者が学校や社会、家庭で直面していると思われる理不尽な事柄を描きながら、なぜそうなってしまうのかを、その背景にある構造を踏まえて読み解く。

東京・中日新聞 2023/01/07

2022:10./ 249p
978-4-480-68438-7
¥968〔税込〕

スピノザ～読む人の肖像～(岩波新書 新赤版 1944)

國分 功一郎 著
岩波書店
思考を極限まで厳密に突き詰めたがゆえに実践的であるという、驚くべき哲学プログラムを作り上げたスピノザ。難解とされるその全体像を徹底的に読み解き、かつてない哲学者像を描き出す。

東京・中日新聞 2023/01/08

2022:10./ 5p,414p
978-4-00-431944-3
¥1,408〔税込〕

創造的破壊の力～資本主義を改革する 22 世紀の国富論～

フィリップ・アギヨン／セリーヌ・アントニン／サイモン・ブネル 著
東洋経済新報社
持続的で平等な成長に向けて創造的破壊を舵取りするには。創造的破壊が雇用を破壊し、健康や幸福に及ぼす負の影響を抑えるには-。資本主義を適切に運営する知見が満載の連続講義を書籍化。

東京・中日新聞 2023/01/08

2022:12./ 16p,436p,33p
978-4-492-39671-1
¥4,620〔税込〕

十三夜の焔

月村　了衛 著
集英社
幣原喬十郎はある夜、男女の死体を発見する。その傍らには涙を流す男が…。十三夜の湯島で出会った幕府の番方・喬十郎と闇社会で生きる千吉。20 年以上にわたる 2 人の因縁を描く。『小説すばる』連載を改題し単行本化。

東京・中日新聞 2023/01/08

2022:10./ 338p
978-4-08-771812-6
¥1,980〔税込〕

時ありて

イアン・マクドナルド 著
早川書房
古書ディーラーのエメットが偶然手にした詩集「時ありて」には、手紙が挟まっていた。彼は手紙に書かれた事実を追ううち、第二次大戦の戦火を生きた 2 人の男をめぐる迷宮を彷徨うことに…。

東京・中日新聞 2023/01/08

2022:11./ 161p
978-4-15-210184-6
¥2,200〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ペストの夜<上>

オルハン・パムク 著
早川書房
オスマン帝国末期、ペストが流行し始めたミンゲル島で、皇帝が派遣した疫学者が何者かに殺された。殺人事件の謎を解き、ペスト流行を食い止めるため、皇帝の姪婿である医師が派遣されるが…。ペスト禍の人間模様を描き出す。

東京・中日新聞 2023/01/15

2022:11./ 431p
978-4-15-210185-3
¥2,970〔税込〕

ペストの夜<下>

オルハン・パムク 著
早川書房
ペスト感染が拡大したミンゲル島から逃げ出す島民。海上封鎖を進める西欧列強諸国とイスタンブールの中央政府。そんな中、疫学者の助手までもが殺された。パーキーゼ姫とヌーリー医師が目撃する真犯人は…。

東京・中日新聞 2023/01/15

2022:11./ 429p
978-4-15-210186-0
¥2,970〔税込〕

「特攻」を子どもにどう教えるか

山元 研二 著
高文研
「平和学習」で「知覧特攻平和会館」を訪れる子どもたちは、そこで何を学ぶのか。中学校社会科教師として「特攻」教材化に取り組んできた著者の、「特攻」を歴史の教訓として学ぶための実践記録。特攻の劇の脚本集も収録する。

東京・中日新聞 2023/01/15

2022:11./ 212p
978-4-87498-826-8
¥2,090〔税込〕

外国人まかせ～失われた 30 年と技能実習生～

澤田晃宏 著
サイゾー
建設業、農業・漁業、縫製業、介護…。外国人が働く現場を徹底ルポ。日本人の生活の根幹を支える彼らの姿と「外国人まかせ」の労働現場の今を描く。「ルポ技能実習生」の続編。『サイゾー』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2023/01/15

2022:11./ 253p
978-4-86625-161-5
¥1,980〔税込〕

私のことだま漂流記

山田 詠美 著
講談社
初めて「売文」を試みた文学少女時代、挫折を噛み締めた学生漫画家時代、誹謗中傷に傷ついたデビュー後、そして結婚と離婚…。小説家という生き物の魂の航海をたどる本格自伝小説。毎日新聞連載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/01/15

2022:11./ 308p
978-4-06-529591-5
¥1,815〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ルビーが詰まった脚

ジョーン・エイキン 著
東京創元社
不死鳥とルビーが詰まった義足を押し付けられた青年が見いだした解決策とは? 表題作をはじめ、可愛い幽霊犬をめぐる心温まる話「ハンブルパピー」など全10編を収録した、摩訶不思議な世界を描く短編集。

東京・中日新聞 2023/01/22

2022:10./ 242p
978-4-488-01118-5
¥2,420〔税込〕

ジジイの台所

沢野 ひとし 著
集英社クリエイティブ
人は台所によって頭を、そして心を育てる。だからジジイは台所に魅せられる-。台所で過ごす時間が、かけがえのないものになるイラストエッセイ17編&19のコラムを収録する。「ジジイの片づけ」に続く第2弾。

東京・中日新聞 2023/01/22

2022:11./ 189p
978-4-420-31099-4
¥1,760〔税込〕

ビートルズ創造の多面体

高山 博 著
アルテスパブリッシング
ビートルズはなぜ史上最高のバンドとなったのか。なぜ今も世界を自由で豊かにしているのか。4人の創作プロセスをたどり、革新性と創造性、現代的意義を解き明かす。豊富なコード譜例と音楽用語集も収録する。

東京・中日新聞 2023/01/22

2022:11./ 347p,44p
978-4-86559-266-5
¥2,640〔税込〕

調べる技術～国会図書館秘伝のレファレンス・チップス～

小林 昌樹 著
皓星社
原稿のチェックや論文執筆などの「調べもの」をする際に、キチンと答えを出すにはどうすればよいか? 国会図書館で利用者の調べ物相談(レファレンス)に従事した著者が、その実践的な技術を公開する。メルマガ連載を書籍化。

東京・中日新聞 2023/01/22、読売新聞 2023/01/29

2022:12./ 183p
978-4-7744-0776-0
¥2,200〔税込〕

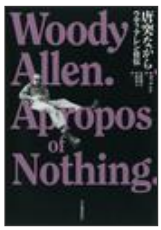
瓦礫抄(俳句日記　澤俳句叢書 2012　第29篇)

小澤實 著
ふらんす堂
置き去りのバーベル冬の草の丈 ペダル踏めばばたばた進み舟遊び 青森の枝豆毛豆毛深いぞ 平成23年12月1日～24年11月30日の日々を俳句と文章で綴る。ふらんす堂ホームページ連載「俳句日記」を書籍化。

東京・中日新聞 2023/01/28

2022:12./ 381p
978-4-7814-1526-0
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



唐突ながら～ウディ・アレン自伝～

ウディ・アレン 著
河出書房新社
ぼくの人生なんて、たいしたもんじゃない-。「アニー・ホール」をはじめ、数々の名作を作りつづけた映画監督が、少年時代から映画の舞台裏、世紀の醜聞事件までを饒舌に語る。

東京・中日新聞 2023/01/29

2022:11./ 413p
978-4-309-20870-1
¥3,630〔税込〕

そして、よみがえる世界。

西式　豊 著
早川書房
SME 社が開発した脳内インプラント<テレパス>によって、身体障害者の活動範囲は大幅に拡大した。脳神経外科医の牧野は、かつての恩師から、少女エリカに視覚再建装置を埋め込む手術の代理執刀を依頼され…。

東京・中日新聞 2023/01/29

2022:11./ 363p
978-4-15-210188-4
¥1,980〔税込〕

小説作法の奥義

阿刀田 高 著
新潮社
小説が躍動する登場人物命名法、読者を満足させる<九合目の理論>…。短篇の名匠・阿刀田高が、作家人生と読書歴を振り返り、培ったテクニックを公開する。『小説新潮』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2023/01/29

2022:12./ 265p
978-4-10-334332-5
¥1,925〔税込〕

ベルサイユのばら<１>(集英社文庫)

池田　理代子 著
集英社
読売新聞 2023/01/08

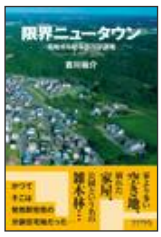
1994:12./ 405p
978-4-08-748220-1
¥858〔税込〕

チェンバロ大事典

日本チェンバロ協会 編
春秋社
チェンバロ、クラヴィコードといった歴史的有弦鍵盤楽器の 500 年に亘る歴史を一望できるハンドブック。楽器の仕組みや様式、楽器製作者・メーカーの歴史、演奏法や通奏低音、調律、メンテナンスなどを解説。図版も多数掲載。

読売新聞 2023/01/08

2022:11./ 16p,478p
978-4-393-93041-0
¥5,500〔税込〕



限界ニュータウン～荒廃する超郊外の分譲地～

吉川 祐介 著
太郎次郎社エディタス
家より多い空き地、崩れた家屋、公園という名の雑木林。かつてそこは発売即完売の分譲住宅地だった-。「限界ニュータウン」を訪ね歩きつづける著者が、その誕生から現状をたどり、利活用と未来を考える。

読売新聞 2023/01/08

2022:10./ 239p
978-4-8118-0850-5
¥1,980〔税込〕

語学の天才まで１億光年

高野 秀行 著
集英社インターナショナル
インドで身ぐるみ剝がされ英語が上達、麻薬王のアジトでビルマ語学習…。学んだ言語は 25 以上。辺境ノンフィクション作家の超ド級語学体験記。語学上達のヒントも満載。note 連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2023/01/08

2022:9./ 334p
978-4-7976-7414-9
¥1,870〔税込〕

戦後日本映画史～企業経営史からたどる～

井上 雅雄 著
新曜社
1940～50 年代の大映の企業活動を中心として、日本映画の社会経済的実態の特徴的局面を解明する。戦後映画の「黄金期」を、産業として企業経営史の観点からたどり、従来の作品論とは全く異なった新しい風景を拓く。

読売新聞 2023/01/08

2022:9./ 508p
978-4-7885-1781-3
¥5,720〔税込〕

石油とナショナリズム～中東資源外交と「戦後アジア主義」～

シナン・レヴェント 著
人文書院
戦後日本の「中東」概念が、戦前のアジア主義が形を変え、資源と密接に結びついた「民族主義」の影響を強く受けていたことを解明。関係者の聞き取りも踏まえ、「民族系資本」としての石油、資源ナショナリズムを考察する。

読売新聞 2023/01/08

2022:9./ 358p
978-4-409-52090-1
¥4,950〔税込〕

死者と生きる

デルフィーヌ・オルヴィルール 著
早川書房
シャルリ=エブド襲撃事件の犠牲者、政治家シモーヌ・ヴェイユ、ホロコーストの生存者…。数少ない女性ラビのひとりである著者が、自ら執りおこなった葬儀を通じて、死や生きること、家族であることの意味について説き明かす。

読売新聞 2023/01/08

2022:10./ 210p
978-4-15-210175-4
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

徳川家康という人(河出新書 057)

本郷 和人 著
河出書房新社
乱世を生き抜き、最後の最後に一人勝ちした「史上最強の凡人」のサバイバル術とは? 生きざま、三河家臣団の真実、軍事的手腕、政治・経済の才、外交戦略など、天下人・徳川家康の実像をいきいきと描く。

読売新聞 2023/01/08

2022:10./ 220p
978-4-309-63158-5
¥935〔税込〕

「公正」が最強の成功戦略である～「いい人では勝てない」のウソ～

デイヴィッド・ボダニス 著
光文社
お人好しになってはいけないが、適切な態度、「公正な」態度を取れば、素晴らしい成果が得られる。公正な行動で成功を収めた事例を紹介し、公正な態度の大切さを証明する。

読売新聞 2023/01/08

2022:9./ 455p
978-4-334-96258-6
¥2,200〔税込〕

金色昔日～現代中国 SF アンソロジー～(ハヤカワ文庫 SF 2387)

ケン・リュウ 編
早川書房
北京五輪の開会式を彼女と見たあの日から、世界はあまりにも変わってしまった-。中国の歴史とある男女の運命を重ね合わせた表題作、劉慈欣による環境 SF の佳品「月の光」など、14 作家による中国 SF16 篇を収録。

読売新聞 2023/01/08

2022:11./ 715p
978-4-15-012387-1
¥1,518〔税込〕

「贈与論」の思想～マルセル・モースと<混ざりあい>の倫理～

森山工 著
インスクリプト
筋金入りの社会主義者で、消費協同組合運動に精力を傾けた社会活動家、モース。複雑な「贈与論」テクストとモースの全体像をその行論から読み解き、中庸をゆく<混ざり合いの倫理>にモース思想の核心を見出す創造的論考。

読売新聞 2023/01/08

2022:11./ 365p
978-4-900997-98-1
¥3,850〔税込〕

今鳴いた烏がもう笑った～鬼頭智子作品集～

柿沼　裕朋 編
鬼頭　智子 著
平凡社
画家・鬼頭曄の娘であり、木村伊兵衛賞受賞の写真家・今道子の姪にあたる画家・鬼頭智子の作品集。高橋睦郎、宇野亞喜良による解説、インタビューも収録する。

読売新聞 2023/01/08

2022:11./ 132p
978-4-582-27336-6
¥3,960〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

青ひげの卵(ちくま文庫　あ 65-1)

マーガレット・アトウッド 著
筑摩書房
無難な仕事、かわいい心臓外科医の夫、尊敬できる女友達、不満はあれど庭付きの家。望んだものに囲まれて、サリーの人生は“そこそこ素敵”なはずだったが…。表題作のほか、「ぶさ猫」「罪食い人」など全 6 編を収録。

読売新聞 2023/01/08

2022:11./ 274p
978-4-480-43843-0
¥1,210〔税込〕

道行きや(新潮文庫　い-70-2)

伊藤 比呂美 著
新潮社
カリフォルニアで夫を看取り、二十数年ぶりに日本へ愛犬と帰国。週の 4 日は熊本で犬と河原を歩き、植物を愛でる。残りは早稲田大学で、大勢の若者と対話する。過ぎ去りし日を噛みしめ、果てなき漂泊人生を綴る。

読売新聞 2023/01/08

2022:11./ 254p
978-4-10-131222-4
¥605〔税込〕

ビジネスと人生に効く教養としてのチャップリン

大野　裕之 著
大和書房
独裁者と真っ向から闘い、100 年前にダイバーシティを実践したエンタメビジネスの創始者チャップリン。最新の研究成果をもとにさまざまな角度から<チャップリンと現代>に迫り、生きる指針を得る。

読売新聞 2023/01/08

2022:11./ 287p
978-4-479-39396-2
¥1,760〔税込〕

踏切の幽霊

高野 和明 著
文藝春秋
都会の片隅にある踏切で撮影された、一枚の心霊写真。雑誌記者の松田は、読者からの投稿をもとに心霊ネタの取材に乗り出すが、やがて彼の調査は幽霊事件にまつわる思わぬ真実に辿り着き…。『別冊文藝春秋』掲載を単行本化。

読売新聞 2023/01/08

2022:12./ 289p
978-4-16-391633-0
¥1,870〔税込〕

骨灰

冲方　丁 著
KADOKAWA
大手デベロッパーに勤める松永光弘は、自社の現場に関する悪い噂の真偽を確かめるため、地下へ調査に向かう。たどり着いた不気味な祭祀場で、鎖に繋がれた男を発見し解放するが…。『小説野性時代』連載を単行本化。

読売新聞 2023/01/08

2022:12./ 395p
978-4-04-111995-2
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

空に星があるように～小説荒木一郎～

荒木 一郎 著
小学館
愛が消えるとき、歌が生まれた-。とらえがたい魅力、ミステリアスな感性で、無二の存在を刻んだ荒木一郎。60 年代の芸能黄金時代を背景に、自らの例外的な魂の軌跡を描き切った大河青春小説。

読売新聞 2023/01/08、東京・中日新聞 2023/01/22

2022:11./ 526p
978-4-09-386652-1
¥3,300〔税込〕

能力構築競争～日本の自動車産業はなぜ強いのか～(中公新書)

藤本 隆宏 著
中央公論新社
読売新聞 2023/01/15

2003:6./ 406p
978-4-12-101700-0
¥1,056〔税込〕

ザ・チョイス～複雑さに惑わされるな!～

エリヤフ・ゴールドラット、三本木 亮 著
ダイヤモンド社
「何が本当に重要か」を見極めることができれば、企業はパフォーマンスの向上を成し遂げられる。「ものごとはシンプルである」「人は善良である」という信念の根本的なあり方を説明。組織、そして人生の本質を解き明かす物語。

読売新聞 2023/01/15

2008:11./ 287p
978-4-478-00665-8
¥1,760〔税込〕

テクノロジーとイノベーション～進化/生成の理論～

W.ブライアン・アーサー 著
みすず書房
新技術はどこから生れ、どこへ行くのか? ドメイン、構造の深化、機会のニッチ、生成的な経済…。数々のモチーフが鳴り響く、新テクノロジー創成のメタ理論。

読売新聞 2023/01/15

2011:9./ 283p,22p
978-4-622-07621-6
¥4,070〔税込〕

ゴルギアス 改版(岩波文庫 青 601-2)

プラトン 著
岩波書店
ソクラテスと三人の人物との対話は、弁論術が立身栄達の術とされている現実や若い人の実利主義的道徳意識などを次々と明るみに出す。プラトンは本編によって、個人の道徳と同時に政治の問題を追求し、アテナイの現実の政治に痛烈な批判を投げかけた。後に『国家』において発展させられた哲人政治の思想の第一歩である。

読売新聞 2023/01/15

2007:4./ 368p
978-4-00-336012-5
¥1,111〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

戦争とプロレス～プロレス深夜特急「それぞれの闘いの場所で」・篇～

TAJIRI 著
徳間書店
ウクライナ戦争直撃の欧州、ポスト・コロナに踏み出したアメリカ…。プロレスで海外を放浪する文豪レスラーによる、激動のトラベルルポルタージュ。著者初の小説も収録。『プロレス格闘技 DX』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

読売新聞 2023/01/15

2022:9./ 361p
978-4-19-865507-5
¥2,310〔税込〕

新解釈コーポレートファイナンス理論～「企業価値を拡大すべき」って本当ですか?～

宮川　壽夫 著
ダイヤモンド社
長期的な株主は本当にありがたい存在か? 経費削減の努力はなぜいつまでも報われないのか? ミクロ経済学の理論をもとに企業活動の謎を解き、資本主義の本質に迫る。知識を教養に変える、コーポレートファイナンス入門。

読売新聞 2023/01/15

2022:10./ 443p
978-4-478-11671-5
¥1,980〔税込〕

切り裂きジャックに殺されたのは誰か～5 人の女性たちの語られざる人生～

ハリー・ルーベンホールド 著
青土社
1888 年ロンドン。5 人の女性たちが 2 か月のあいだに殺人鬼「切り裂きジャック」に殺された。被害者の 5 人の女性たちの人生をよみがえらせ、社会の暴力をつまびらかにする、鎮魂と告発のノンフィクション。

読売新聞 2023/01/15

2022:9./ 411p,9p
978-4-7917-7499-9
¥3,520〔税込〕

日本の凄い神木～人々の信仰を集める神木と人の生活と寄り添ってきた日本の巨木の歴史～(地球の歩き方 BOOKS　旅の図鑑シリーズ W24)

本田不二雄 著
学研
青森県五所川原市の十二本ヤス、静岡県南伊豆町のビャクシン、高知県大豊町の大ケヤキ、鹿児島県姶良市のクス…。全都道府県各地を鎮守する神木・巨樹 250 柱と、それが見てきた日本の歴史を巡る。

読売新聞 2023/01/15

2022:10./ 255p
978-4-05-801833-0
¥2,200〔税込〕

教養としての能楽史(ちくま新書　1690)

中村　雅之 著
筑摩書房
太閤・秀吉や五代将軍綱吉は相当な能狂いだった、桃山時代までの能は今のおよそ 2 倍の速度で演じられていた-。能の歴史を楽しく学びつつ、日本の伝統芸能の本質も理解できる、能楽史の入門書。

読売新聞 2023/01/15

2022:10./ 215p,7p
978-4-480-07512-3
¥924〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

シベリアのビートルズ～イルクーツクで暮らす～

多田 麻美 著

亜紀書房

ソ連時代、ロック少年だった画家と結婚し、シベリアに暮らし始めて 5 年。そこに暮らす人々は破天荒でやけくそに明るくて…。イルクーツクの人々の本音や生き方に寄り添う、海外事情エッセイ集。

読売新聞 2023/01/15

2022:10./ 207p
978-4-7505-1769-8
¥1,980〔税込〕

ゾンビ 3.0

石川 智健 著

講談社

1 日目、世界中でゾンビが発生。新宿区の予防感染研究所に、40 人ほどが閉じ込められ、厚労省から原因究明の要請。外から一条という刑事も加わり…。6 日目、7 日目を経て、ゾンビに覆いつくされたこの世界に審判が下される!

読売新聞 2023/01/15

2022:10./ 314p
978-4-06-528589-3
¥1,650〔税込〕

マシンフッド宣言<上>(ハヤカワ文庫 SF 2388)

Ｓ・Ｂ・ディヴィヤ 著

早川書房

人が機械に追いつくため心身強化ピル(薬)を服用する未来。大富豪のピル資金提供者を警護するウェルガは、ある日襲われクライアントを殺害される。<機械は同胞>と名乗る敵は機械知性の権利と人間のピル使用停止を要求し…。

読売新聞 2023/01/15

2022:11./ 344p
978-4-15-012388-8
¥1,320〔税込〕

マシンフッド宣言<下>(ハヤカワ文庫 SF 2389)

Ｓ・Ｂ・ディヴィヤ 著

早川書房

遺伝子工学者のニティヤはピル(薬)の副作用に苦しむ義姉の治療法を調べる過程で業界の不正に気づく。<機械は同胞>はまだ実現していないはずの意識を持つ AI か? ウェルガはその正体を突き止めるべく奮闘するが…。

読売新聞 2023/01/15

2022:11./ 329p
978-4-15-012389-5
¥1,320〔税込〕

新地方論～都市と地方の間で考える～(光文社新書　1227)

小松理虔 著

光文社

「都市か、地方か」という構図からこぼれ落ちてしまうような地方の現実を、観光やメディア、スポーツなど 10 のテーマから論じる。著者が自分の目線で書いた地方論。光文社新書 note 連載を加筆修正。

読売新聞 2023/01/15

2022:10./ 275p
978-4-334-04634-7
¥1,056〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

本が語ってくれること(平凡社ライブラリー　936)

吉田　健一 著
平凡社
東西の作家を自由に往還しながら、闊達に読書の喜びを描く表題作、文芸時評の枠を超えた文明論、本を読む行為から言葉の本質に迫る「本を読む為に」…。吉田健一流読書論の神髄。

読売新聞 2023/01/15

2022:11./ 284p
978-4-582-76936-4
¥1,760〔税込〕

日本の家庭料理とレシピの一〇〇年～料理研究家とその時代～(別冊太陽)

別冊太陽編集部 編
平凡社
戦後から現在までの人気料理研究家のレシピを読み解き、その時代に何が求められていたのかを紐解く。ほか、料理書で読む日本の家庭料理 100 年史、人気料理家の本棚と愛蔵レシピ、田辺聖子の献立覚えなどを収録。

読売新聞 2023/01/15

2022:11./ 143p
978-4-582-94617-8
¥1,760〔税込〕

砂丘律(ちくま文庫　ち 17-1)

千種　創一 著
筑摩書房
だれひとり悲しませずに林檎ジャムをつくりたいので理論をください 崖からの夜景を眺め終えたのちあなたの外す眼鏡が冷える 19 歳から 27 歳までの間に発表してきた 410 首を収めた第 1 歌集。

読売新聞 2023/01/15

2022:11./ 263p
978-4-480-43836-2
¥880〔税込〕

情報パンデミック～あなたを惑わすものの正体～

読売新聞大阪本社社会部 著
中央公論新社
コロナ禍でかつてない広がりを見せたデマや陰謀論。なぜ流布するのか、なぜ信じるのか。ネットでデマを流布する発信者を追い、翻弄される人々の声を聞く。高度化する嘘の裏側に迫るドキュメント。『読売新聞』連載を書籍化。

読売新聞 2023/01/15

2022:11./ 254p
978-4-12-005592-8
¥1,870〔税込〕

寿命が尽きる 2 年前(幻冬舎新書　く-1-4)

久坂部　羊 著
幻冬舎
2 年後に死ぬとわかったら-。必ずやってくる“その時(2 年前)”はいつなのか、寿命は延ばせるか、何をするべきか…。人気の医師作家が「楽に人生をまっとうする」ために、残された時間をどうすごすのがいいのかを考える。

読売新聞 2023/01/15

2022:10./ 240p
978-4-344-98671-8
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

時を超える美術～「グローカル・アート」の旅～(光文社新書　1231)

新見 隆 著
光文社
明媚な港町を描いた亀山全吉、ジャンク都市を形而上化したコーネル…。ローカルを大事にしながらグローバルにつながる「グローカル」な精神を宿した美術作品や芸術家を、風土に絡めて紹介する。

読売新聞 2023/01/15

2022:11./ 269p 図版 16p
978-4-334-04638-5
¥1,056〔税込〕

ここはとても速い川(講談社文庫 い 152-1)

井戸川 射子 著
講談社
児童養護施設に暮らす小学生の集は、親友と淀川にいる亀たちを見に行くのが楽しみだった-。温もりが伝わる繊細な言葉で子どもの心を描いた表題作など全 2 編を収録。詩人・井戸川射子の初小説集。

読売新聞 2023/01/15

2022:12./ 162p
978-4-06-530237-8
¥649〔税込〕

戦略プロフェッショナル～決定版～

三枝　匡 著
KADOKAWA
常に現場で「戦略」と「論理に支えられた腕力」を磨き続け、日本企業の再生手法を編み出してきた著者が綴る経営戦略書+人生論。半生を振り返りながら、そこで味わった成功と失敗を赤裸々に描く。不朽の名著を一新した決定版。

読売新聞 2023/01/15

2022:12./ 357p
978-4-04-112793-3
¥1,980〔税込〕

されどわれらが日々(文春文庫)

柴田 翔 著
文芸春秋
何一つ確かなもののない時代を懸命に生きようとした二人の男女を描き、60 年代～70 年代にヒットした青春文学の大ベストセラー

読売新聞 2023/01/22

2007:11./ 269p
978-4-16-710205-0
¥704〔税込〕

キリング・アンド・ダイング

エイドリアン・トミネ 著
国書刊行会
突如アートに目覚める植木職人の理想と現実、ポルノ女優そっくりの顔で悩む娘の告白、口下手なのにコメディアンを目指す娘とその父の葛藤…。アメリカン・グラフィック・ノヴェルの旗手による静かに胸に突き刺さる 6 つの物語。

読売新聞 2023/01/22

2017:5./ 125p
978-4-336-06167-6
¥3,740〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

長距離漫画家の孤独 通常版

エイドリアン・トミネ 著
国書刊行会
アメリカで活躍している漫画作家エイドリアン・トミネ。彼がいかにして数多の失敗・屈辱・災難を乗り越えてグラフィック・ノヴェリストとして名声を築いたかを、ユーモアあふれるほろ苦いタッチで描く。

読売新聞 2023/01/22

2022:9./ 162p
978-4-336-07423-2
¥3,960〔税込〕

マヤ文明の戦争～神聖な争いから大虐殺へ～

青山 和夫 著
京都大学学術出版会
戦争のない平和な文明と誤解されていたマヤ文明。多くの防御遺構の発見・壁画の解読などから、戦争が頻繁に行われていたことがわかってきた。壁画、彫像、彩色土器などに視覚化されていた戦争を、考古学的見地から実証する。

読売新聞 2023/01/22

2022:11./ 12p,530p
978-4-8140-0447-8
¥7,150〔税込〕

いくつになってもぬいぐるみ愛～幸せの日々のために～

松原 敬三 著
彩流社
ぬいぐるみは、どうして幸せを運び、人間関係を支えてくれるのか? ぬいぐるみを生活の中に組み込む目的は何なのか? ぬいぐるみの愛好者である著者が、自身の半生を交え、ぬいぐるみ論を展開する。

読売新聞 2023/01/22

2022:10./ 187p
978-4-7791-2859-2
¥1,980〔税込〕

子どものことを子どもにきく～「うちの子」へのインタビュー8 年間の記録～(ちくま文庫　す 30-1)

杉山　亮 著
筑摩書房
3 歳から 10 歳まで、父親が息子に年に 1 回インタビューをした記録。新しい価値観と言葉を獲得していく過程を豊かに切り取る。刊行から 20 年以上を経て、著者と息子の現在と当時を語る「あとがき」も収録。

読売新聞 2023/01/22

2022:11./ 249p
978-4-480-43848-5
¥792〔税込〕

水～本の小説～

北村 薫 著
新潮社
向田邦子、小林信彦、エラリー・クイーン…。本を愛する作家が、言葉と物語からあふれる力を掬いとり、その輝きを伝える<本の私小説>7 篇を収録する。『波』掲載を書籍化。

読売新聞 2023/01/22

2022:11./ 278p
978-4-10-406616-2
¥1,925〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ガラスの 50 代(講談社文庫 さ 66-20)

酒井 順子 著
講談社
令和の 50 代が抱える悩みの原因は、寿命が長くなったせい。美容、体調から親、子供、仕事、趣味、セックス、老後の準備まで、「令和の 50 代」のリアルを綴った、ライフステージエッセイ。

読売新聞 2023/01/22

2022:11./ 233p
978-4-06-529898-5
¥704〔税込〕

全ての叡智はローマから始まった～今も生きるローマ人の発想力～

藤谷道夫 著
さくら舎
現代の 2 倍の強度のコンクリート建築、インフラ優先整備、権力から民を護る護民官、カエサルの革新的国家改造…。ローマ隆盛の歴史と技術、思想など、ローマ人の真の凄さを紹介する。

読売新聞 2023/01/22

2022:11./ 403p
978-4-86581-365-4
¥2,200〔税込〕

モトムラタツヒコの読書の絵日記

モトムラタツヒコ 著
書肆侃侃房
イラストレーター、グラフィックデザイナーとして活動するモトムラタツヒコが、2018 年から 2022 年までに描いた読書の絵日記、全 106 作品を収録する。本体は背表紙なし糸綴じ。

読売新聞 2023/01/22

2022:11./ 127p
978-4-86385-550-2
¥1,650〔税込〕

徳富蘇峰～人と時代～

伊藤彌彦 編
和田守 著
萌書房
近代日本を代表するジャーナリスト、徳富蘇峰。彼の生涯を思想的変遷にも重きを置きつつ、これまであまり論じられることのなかった社会事業家としての側面にもスポットを当て、青・壮年期を中心に活写する。

読売新聞 2023/01/22

2022:10./ 16p,392p,4p
978-4-86065-157-2
¥4,400〔税込〕

グッゲンハイムの謎

ロビン・スティーヴンス 著
東京創元社
12 歳のテッドは、グッゲンハイム美術館の主任学芸員をしているグロリアおばさんを訪ねた。休館日に特別に見学させてもらっていると、突然白い煙が。急いで避難したが、名画が盗まれていて…。「ロンドン・アイの謎」続編。

読売新聞 2023/01/22

2022:12./ 265p
978-4-488-01120-8
¥2,090〔税込〕

変革する文体～もう一つの明治文学史～

木村 洋 著
名古屋大学出版会
政論・史論から翻訳・哲学まで、徳富蘇峰を起点に近代の「文」の歩みを辿り、新興の洋文脈と在来の和文脈・漢文脈の交錯から、新しい人間・社会像や討議空間が形づくられる道程を描く。『日本近代文学』ほか掲載を書籍化。

読売新聞 2023/01/22

2022:12./ 8p,340p,8p
978-4-8158-1108-2
¥6,930〔税込〕

真鍋博 本の本

五味俊晶 編
パイインターナショナル
1 冊の本が未来を変えると信じた時代。アガサ・クリスティー「ひらいたトランプ」、星新一「ボッコちゃん」…。ブックデザインで知られるイラストレーター真鍋博が手がけた書籍・雑誌・業界誌など 974 点をカラーで収録。

読売新聞 2023/01/22

2022:12./ 467p,10p
978-4-7562-5641-6
¥3,520〔税込〕

世襲～政治・企業・歌舞伎～(幻冬舎新書　な-1-14)

中川右介 著
幻冬舎
公職の私物化が進む政界、基幹インフラ産業の自動車・鉄道、藝は一代限りといいながらほぼ世襲の歌舞伎界。このグローバルな時代にいつまで「家業」を続けられるか。世襲が目立つ 3 業界を例に、その栄枯盛衰を描く。

読売新聞 2023/01/22

2022:11./ 501p
978-4-344-98675-6
¥1,540〔税込〕

笑い神～M-1、その純情と狂気～

中村 計 著
文藝春秋
M-1 とは何か。漫才とは何か。M-1 決勝に 9 年連続で進出した笑い飯を追いながら、漫才師たちの「笑い」の発明と革新の 20 年を活写する。『週刊文春』掲載を大幅に加筆修正し単行本化。

読売新聞 2023/01/22、毎日新聞 2023/01/28

2022:11./ 382p
978-4-16-391632-3
¥1,980〔税込〕

剣客商売一　剣客商売(新潮文庫　い-17-1)

池波 正太郎 著
新潮社
読売新聞 2023/01/29

2002:9./ 365p
978-4-10-115731-3
¥737〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

坂の上の雲<1>　新装版

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
明治維新をなしとげ、欧米列強に並ばんと近代化を急ぐ若き日本。四国松山出身の秋山好古、秋山真之、正岡子規を中心に明治を描く

読売新聞 2023/01/29

2004:4./ 449p
978-4-16-322810-5
¥1,760〔税込〕

街道をゆく<1>　湖西のみち、甲州街道、長州路ほか(朝日文庫)

司馬　遼太郎 著
朝日新聞出版
読売新聞 2023/01/29

2008:8./ 291,8p
978-4-02-264440-4
¥704〔税込〕

項羽と劉邦<上>　改版(新潮文庫)

司馬 遼太郎 著
新潮社
読売新聞 2023/01/29

2005:6./ 486p
978-4-10-115231-8
¥880〔税込〕

項羽と劉邦<中>　改版(新潮文庫)

司馬 遼太郎 著
新潮社
読売新聞 2023/01/29

2005:7./ 435p
978-4-10-115232-5
¥781〔税込〕

項羽と劉邦<下>　改版(新潮文庫)

司馬 遼太郎 著
新潮社
読売新聞 2023/01/29

2005:8./ 426p
978-4-10-115233-2
¥781〔税込〕

むかしの味　改版(新潮文庫)

池波 正太郎 著
新潮社
読売新聞 2023/01/29

2008:4./ 184p 図版 16p
978-4-10-115650-7
¥605〔税込〕

鬼平犯科帳<1> 決定版(文春文庫 い 4-101)

池波 正太郎 著
文藝春秋
斬り捨て御免の権限を持つ幕府の火付盗賊改方の長官・長谷川平蔵。義理と人情とユーモアを心得た江戸のヒーローの活躍を描く。1 は、「啞の十蔵」「老盗の夢」など全 8 編を収録。デザインの異なる 2 種類のジャケット付き。

読売新聞 2023/01/29

2016:12./ 372p
978-4-16-790763-1
¥825〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

宗教者は病院で何ができるのか～非信者へのケアの諸相～(龍谷叢書 58)

森田　敬史／打本　弘祐／山本　佳世子 編
森田敬史、打本弘祐、山本佳世子 著
勁草書房
宗教者は、特定の信仰を持たない/信仰を異にする患者のケアにどのように関わることができるのか。日本の医療施設における宗教的ケアの在り方と可能性、そして意義を、調査研究をもとに具体的に論じる。

読売新聞 2023/01/29

2022:10./ 5p,253p,11p
978-4-326-70126-1
¥2,970〔税込〕

はぐれんぼう

青山 七恵 著
講談社
クリーニング店で働く優子は、持ち主が長く引き取りに来ない衣服「はぐれんぼちゃん」たちを自宅に持ち帰る。すると翌朝、それらが体全体を覆っていて…。不可思議で切なく瑞々しい救済と癒しの物語。『群像』連載を単行本化。

読売新聞 2023/01/29

2022:9./ 344p
978-4-06-529097-2
¥2,090〔税込〕

錯乱 新版改訂版(春陽文庫)

池波正太郎 著
春陽堂書店
信州松代藩。馬廻りの藩士・平五郎は、温厚な人柄で城下に知られていた。ある日、藩主の信政が突如卒倒、3 日後に没する。その報を聞いた平五郎の目に、一瞬、異様な光が走り…。表題作をはじめ、珠玉の全 5 作品を収録。

読売新聞 2023/01/29

2022:9./ 317p
978-4-394-90423-6
¥924〔税込〕

カラスはずる賢い、ハトは頭が悪い、サメは狂暴、イルカは温厚って本当か?(ヤマケイ文庫)

松原　始 著
山と渓谷社
ハゲタカはハゲだから清潔に生きられる、チョウは花だけじゃなく糞にもとまる、一匹狼は孤独を好んでいるわけじゃない…。動物の見た目の誤解、性格の誤解、生き方の誤解について、実例をあげながら生物学的に解説する。

読売新聞 2023/01/29

2022:11./ 346p
978-4-635-04956-6
¥990〔税込〕

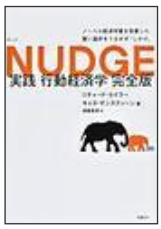
古代マケドニア王国史研究～フィリッポス二世のギリシア征服～

澤田　典子 著
東京大学出版会
なぜフィリッポス二世は、それまで誰も果たせなかったギリシア征服を成し遂げることができたのか。フィリッポス二世以前の時期にも重点を置き、彼のギリシア征服という歴史事象をマケドニア史のコンテクストのなかで読み解く。

読売新聞 2023/01/29

2022:11./
10p,387p,161p
978-4-13-026173-9
¥12,100〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO



実践行動経済学　完全版

リチャード・セイラー、キャス・サンスティーン 著
日経ＢＰ社
ノーベル経済学賞を受賞したセイラー教授の代表作である、行動経済学の入門書。強制や禁止をせずに本人の「よりよい選択」を後押しする“使える”経済学を、わかりやすく解説する。

読売新聞 2023/01/29

2022:11./ 462p
978-4-296-00098-2
¥2,530〔税込〕

モーツァルトの至高性～音楽に架かるバタイユの思想～

酒井健 著
青土社
生の核心や宗教、エロスの根源をとらえようと思索しつづけた思想家バタイユと、それまでの音楽の枠組みを軽やかに超えた音楽家モーツァルト。バタイユの見方を導入して、モーツァルトの音楽の魅力を新たに示す斬新な芸術論。

読売新聞 2023/01/29

2022:11./ 406p,10p
978-4-7917-7517-0
¥4,180〔税込〕

世界を支配する人々だけが知っている 10 の方程式～成功と権力を手にするための数学講座～

デイヴィッド・サンプター 著
光文社
世界は 10 の方程式に従って動いている。そのしくみを理解し、活用できる集団「TEN」だけが、世界を手中に収めることができるのだ-。現代社会を支配している 10 の数式と、それを活用する方法を、ユーモラスに解説する。

読売新聞 2023/01/29

2022:10./ 422p
978-4-334-96260-9
¥2,420〔税込〕

ザ・ロイヤルファミリー(新潮文庫　は-68-3)

早見 和真 著
新潮社
税理士の栗須栄治はビギナーズラックで当てた馬券を縁に、人材派遣会社<ロイヤルヒューマン>のワンマン社長・山王耕造の秘書として働くことに。<ロイヤル>の名を冠した馬の勝利を求める山王と共に有馬記念を目指し…。

読売新聞 2023/01/29

2022:12./ 619p
978-4-10-120693-6
¥990〔税込〕

ホントのコイズミさん～YOUTH～

小泉 今日子 著
３０３　ＢＯＯＫＳ
小泉今日子が、松浦弥太郎、江國香織など本や本に関わる人たちと語らいながら、新たな扉を開くヒントになる言葉を探す。Podcast『ホントのコイズミさん』の内容を加筆訂正、再構成し書籍化。

読売新聞 2023/01/29

2022:12./ 157p
978-4-909926-19-7
¥1,650〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

子どもの言いごと

2022:12./ 272p
978-4-8460-2223-5
¥2,860〔税込〕

斎藤たま 著
論創社
囃し唄に遊び唄、太陽や月や風への願いごと…。素朴で楽しい各地の伝承唄を紹介・鑑賞。「あの子、どこの子」「煙はそっちゃいけ」など全52項目を収録する。『子どもの館』掲載を加筆し書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2023/01/29

貧乏大好き～ビンボー恐るるに足らず～(だいわ文庫 411-6D)

2022:12./ 286p
978-4-479-32037-1
¥880〔税込〕

東海林　さだお 著
大和書房
高級フレンチでマナーにおびえ、回らぬすし屋で板前に嘲笑されるより、居酒屋の安酒を、定食屋と牛丼屋の安心至極なうまさを、コンビニの楽しさを、存分に味わいたい…。東海林さだおの“貧乏めし”エッセイ。

読売新聞 2023/01/29

学問のすゝめ　改版(岩波文庫　33-102-3)

1978:1./ 241p
978-4-00-331023-6
¥858〔税込〕

福沢　諭吉 著
岩波書店
「天は人の上に人を造らず人の下に人を造らずと言えり」。著名なこの一文で始まる本書は、近代日本最大の啓蒙家である著者が、生来平等な人間に差異をもたらすのは学問の有無によると説く。彼のすすめる学問とは、西洋実学の批判的摂取である。明治の人心を啓発したその言は、一世紀を経た今日も清新である。

日本経済新聞 2023/01/07

イエスの生涯　改版(新潮文庫)

2005:1./ 264p
978-4-10-112316-5
¥605〔税込〕

遠藤 周作 著
新潮社
幼くしてカトリックの洗礼を受け、神なき国の信徒として長年苦しんできた著者が、過去に書かれたあらゆる「イエス伝」をふまえて甦らせた、イエスの〈生〉の真実。

日本経済新聞 2023/01/07

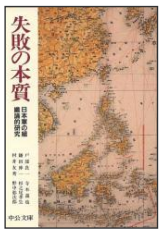
キリストの誕生(新潮文庫)

1982:12./ 257p
978-4-10-112317-2
¥649〔税込〕

遠藤 周作 著
新潮社
無力に死んだイエスが“キリスト”として生き始める足跡を追いかけ、残された人々の心の痕跡をさぐり、人間の魂の深奥のドラマを明らかにする。名作『イエスの生涯』に続く遠藤文学の根幹をなす作品。

日本経済新聞 2023/01/07

MARUZEN-YUSHODO



失敗の本質～日本軍の組織論的研究～(中公文庫)

戸部　良一 著

中央公論新社

大東亜戦争での諸作戦の失敗を、組織としての日本軍の失敗ととらえ直し、これを現代の組織一般にとっての教訓とした戦史の初めての社会科学的分析。

日本経済新聞 2023/01/07

2000:4./ 413p
978-4-12-201833-4
¥838〔税込〕

それでも、日本人は「戦争」を選んだ(新潮文庫　か-77-1)

加藤 陽子 著

新潮社

普通のよき日本人が、世界最高の頭脳たちが、「もう戦争しかない」と思ったのはなぜか? 日清戦争から太平洋戦争まで、戦争の根源的な特徴、戦争が地域秩序や国家や社会に与えた影響と変化などを、中高生への講義を元に解説。

日本経済新聞 2023/01/07

2016:7./ 497p
978-4-10-120496-3
¥880〔税込〕

戦争まで～歴史を決めた交渉と日本の失敗～

加藤　陽子 著

朝日出版社

かつて日本は、世界から「どちらを選ぶか」と 3 度、問われた。より良き道を選べなかったのはなぜか。「歴史を選ぶ」際の作法を、戦争までの歴史を決めた 3 つの交渉から考える。連続講義に加筆、再構成。

日本経済新聞 2023/01/07

2016:8./ 466p
978-4-255-00940-7
¥1,870〔税込〕

学生を戦地へ送るには～田辺元「悪魔の京大講義」を読む～

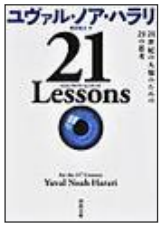
佐藤　優 著

新潮社

日米開戦前夜、京大の哲学教授はいかにしてエリート学生を洗脳し、戦地へ送ったのか? 田辺元による「悪魔の講義」の構造を解明し、<戦前回帰>の進む現代に警鐘を鳴らす。著者が 2015 年 6 月に行った合宿講座の全記録。

日本経済新聞 2023/01/07

2017:7./ 365p
978-4-10-475213-3
¥1,760〔税込〕



21 Lessons～21 世紀の人類のための 21 の思考～(河出文庫　ハ 15-1)

ユヴァル・ノア・ハラリ 著

河出書房新社

“知の巨人”が、テクノロジーや政治をめぐる難題から、この世界における真実、そして人生の意味まで、人類が直面している 21 の重要テーマを厳選。正解の見えない今の時代に、どのように思考し行動すべきかを問う。

日本経済新聞 2023/01/07

2021:11./ 573p
978-4-309-46745-0
¥1,320〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

運動脳～BRAIN～

アンデシュ・ハンセン 著
サンマーク出版
脳は頭を働かせようとするより、身体を動かすことでこそ威力を発揮する器官。「歩く・走る」で、学力、集中力、記憶力、意欲、創造性、すべてがアップする。運動が脳におよぼす絶大な効果を紹介し、その理由を解説する。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:8./ 366p
978-4-7631-4014-2
¥1,650〔税込〕

世界を支えるすごい数学～CG から気候変動まで～

イアン・スチュアート 著
河出書房新社
フェルマー×暗号、カオス理論×品質管理、トポロジー×防犯、ケーキ分割問題×選挙…。意外なところで大活躍している「すごい数学」を、豊富な実例とともに紹介する。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:10./ 331p,10p
978-4-309-25453-1
¥2,420〔税込〕

運動の神話<上>

ダニエル・E・リーバーマン 著
早川書房
人類は運動するために進化してきたわけではないのに、現代人にとって運動が健康に役立つのはなぜか。進化生物学者が、現代人が作り上げてきた運動にまつわる神話を再検証する。上は、「座ること」「睡眠」などを取り上げる。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:9./ 271p
978-4-15-210181-5
¥2,640〔税込〕

運動の神話<下>

ダニエル・E・リーバーマン 著
早川書房
人類は運動するために進化してきたわけではないのに、現代人にとって運動が健康に役立つのはなぜか。進化生物学者が、現代人が作り上げてきた運動にまつわる神話を再検証する。下は、「持久力」「運動と病気」等を取り上げる。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:9./ 276p
978-4-15-210182-2
¥2,640〔税込〕

危機の地政学～感染爆発、気候変動、テクノロジーの脅威～

イアン・ブレマー 著
日経ＢＰ社
パンデミック、気候変動、破壊的なテクノロジー…。民主主義が揺らぎ分断が進む世界で、人類は危機を乗り越えられるのか。地政学の第一人者が、人類の存亡を脅かす危機の正体と解決策を提示する。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:10./ 381p
978-4-296-11394-1
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

決別～総連と民団の相克 77 年～

竹中 明洋 著
小学館
在日本朝鮮人総聯合会(総連)と在日本大韓民国民団(民団)は、本国で起きた朝鮮戦争やその後の南北対立そのままに、日本を舞台に抗争を繰り広げた。気鋭のノンフィクション作家が、両組織の 77 の相克に迫る。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:9./ 399p
978-4-09-388881-3
¥1,980〔税込〕

我々はどこから来て、今どこにいるのか?<上> アングロサクソンがなぜ覇権を握ったか

エマニュエル・トッド 著
文藝春秋
ホモ・サピエンス誕生からトランプ登場までの全人類史を「家族」という視点から書き換える。上は、「アングロサクソンがなぜ世界の覇権を握ったか」という世界史最大の謎を解き明かす。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:10./ 380p
978-4-16-391611-8
¥2,420〔税込〕

我々はどこから来て、今どこにいるのか?<下> 民主主義の野蛮な起源

エマニュエル・トッド 著
文藝春秋
ホモ・サピエンス誕生からトランプ登場までの全人類史を「家族」という視点から書き換える。下は、「民主制」が元来、「野蛮」で「排外的」なものであることを明らかにし、「家族」から主要国の現状と未来を分析する。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:10./ 316p
978-4-16-391612-5
¥2,420〔税込〕

走馬灯のセトリは考えておいて(ハヤカワ文庫 JA 1537)

柴田 勝家 著
早川書房
人が死後に自らのライフログから分身を遺せるようになった未来。“この世”を卒業するバーチャルアイドルが…。表題作をはじめ、「オンライン福男」「クランツマンの秘仏」など、文化人類学と奇想が響き合う全 6 編の傑作集。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:11./ 269p
978-4-15-031537-5
¥924〔税込〕

指輪物語<1> 最新版 旅の仲間(評論社文庫)

Ｊ・Ｒ・Ｒ・トールキン 著
評論社
ホビットのフロドは、養父のビルボから指輪を譲られる。灰色の魔法使いガンダルフから、その指輪はサウロンの邪悪な力が込められた「一つの指輪」に違いないと告げられたフロドは、3 人の友人とともに「裂け谷」を目指す。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:10./ 631p
978-4-566-02389-5
¥1,320〔税込〕

ゴッホの犬と耳とひまわり

長野 まゆみ 著
講談社
古いフランス製の家計簿に書き込まれたゴッホの署名はほんものか? 文化人類学者の河島から依頼され、手稿の真贋とその来歴を追う「ぼく」。実業家一族のファミリーヒストリーが謎を解き…。『群像』連載を改訂し単行本化。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:11./ 342p
978-4-06-529755-1
¥2,200〔税込〕

異彩を、放て。～「ヘラルボニー」が福祉×アートで世界を変える～

松田 文登／松田 崇弥 著
新潮社
知的障害がある人の作品に対し正当な芸術価値を対価で還元。誰も成し得なかったビジネスで、僕らが信じていることは-。重度の知的障害を伴う自閉症の兄を持つ双子の起業家が、スタートアップの軌跡を語る。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:10./ 190p
978-4-10-354811-9
¥1,650〔税込〕

運動しても痩せないのはなぜか～代謝の最新科学が示す「それでも運動すべき理由」～

ハーマン・ポンツァー 著
草思社
1 日の総消費カロリーは運動しても増えない。しかし、だからこそ運動は必ずしなければならない。その理由とは? 数多くの対象のカロリー消費を測定してきた進化人類学者が、ダイエット論争と人類進化の謎に答える。

日本経済新聞 2023/01/07

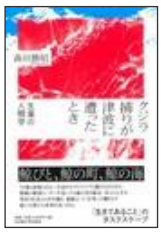
2022:10./ 385p
978-4-7942-2602-0
¥2,970〔税込〕

ソ連核開発全史(ちくま新書　1694)

市川　浩 著
筑摩書房
水爆実験、チェルノブイリ原発事故、原子力ビジネス…。東西冷戦下のソ連において推進された原子力政策は、人類史をどう変えたのか。科学者・技術者を総動員して推し進められた知られざる数々のプロジェクトの全貌に迫る。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:11./ 235p
978-4-480-07519-2
¥946〔税込〕



クジラ捕りが津波に遭ったとき～生業の人類学～

森田 勝昭 著
名古屋大学出版会
鯨びと、鯨の町、鯨の海…。うち続く逆境のなか、生命をかけてクジラと闘うのはなぜか。歴戦の解剖リーダーや老いたる船の若き船長らの声を聴き、捕鯨という「仕事」が織りなす厳しくも豊かな世界を見つめる。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:11./ 4p,364p,6p
978-4-8158-1104-4
¥3,520〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

迫りくる核リスク～<核抑止>を解体する～(岩波新書 新赤版 1946)

吉田 文彦 著
岩波書店
ウクライナ侵攻以後、核兵器が使用されるリスクが急激に高まっている。核の保有が核の使用を防ぐという<核抑止>の実態を歴史と現状の分析から明らかにし、<核抑止>脱却に向けた政策を提言する。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:11./ 13p,249p,5p
978-4-00-431946-7
¥990〔税込〕

私の半分はどこから来たのか～AID 非配偶者間人工授精で生まれた子の苦悩～

大野和基 著
朝日新聞出版
AID(非配偶者間人工授精)で生まれた人の多くが、「生物学上の父」を探し求める。「出自を知る権利」をめぐる取り組みや法制度、世界最大の「精子バンク」の最新動向などをルポ。『AERA』等掲載に加筆・修正。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:11./ 173p
978-4-02-251873-6
¥1,760〔税込〕

「美食地質学」入門～和食と日本列島の素敵な関係～(光文社新書 1230)

巽 好幸 著
光文社
蕎麦を育む火山、出汁を支える山脈、日本酒と地球の大変動…。多彩な和食が生まれた理由は日本列島にある!? 「和食」と「日本列島の地質」の意外で素敵な関係を、マグマ学者が丁寧に紐解く。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:11./ 290p
978-4-334-04637-8
¥946〔税込〕

顔のない遭難者たち～地中海に沈む移民・難民の「尊厳」～

クリスティーナ・カッターネオ 著
晶文社
世界中のあらゆる国々で発見される「身元不明の遺体」の背景にも、それぞれの名前と物語がある-。ヨーロッパではじめて移民遭難者向けデータバンクの創設に取り組んだ法医学者によるノンフィクション。

日本経済新聞 2023/01/07

2022:11./ 255p
978-4-7949-7336-8
¥2,200〔税込〕

司馬遼太郎の時代～歴史と大衆教養主義～(中公新書 2720)

福間良明 著
中央公論新社
日本史を主たるテーマに、人物を個性豊かに、現代への教訓を込めて作品を記した国民作家・司馬遼太郎。その生涯を辿り、作品を紹介しつつ、その歴史小説の本質、多くの人を魅了した理由を 20 世紀の時代とともに描く。

日本経済新聞 2023/01/07、読売新聞 2023/01/22

2022:10./ 6p,278p
978-4-12-102720-7
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

植物はなぜ動かないのか～弱くて強い植物のはなし～(ちくまプリマー新書252)

稲垣　栄洋 著

筑摩書房

植物とはいったいどのような生き物なのか、植物はいかにして植物になったのか、食べられる一方の植物は弱い存在なのか…。「強さとは何か」をテーマに、植物の生き方を探り、わかりやすく解説する。

日本経済新聞 2023/01/14

2016:4./ 197p
978-4-480-68957-3
¥902〔税込〕

都市のルネサンス～イタリア社会の底力～　増補新装版

陣内 秀信 著

古小烏舎

ヴェネツィア、チステルニーノ、ボローニャ。70年代にイタリアに留学した著者が、都市組織、建築類型学を駆使して都市を読み解き、豊かな歴史や個性、構造・骨格を活かし人を主役に蘇らせる都市再生の思想と手法を伝える。

日本経済新聞 2023/01/14

2021:7./ 253p
978-4-910036-02-1
¥2,200〔税込〕

AI防災革命～災害列島・日本から生まれたAIベンチャーの軌跡～

村上 建治郎 著

幻冬舎メディアコンサルティング

災害大国日本に必要なのは「土木」ではなく「AI」。災害状況を即座に可視化して予測する未来の防災とは? 「防災」の新たな局面を切り拓くベンチャー企業「Spectee」の軌跡と展望をつづる。

日本経済新聞 2023/01/14

2021:11./ 173p
978-4-344-93692-8
¥1,650〔税込〕

福島原発災害10年を経て～生活・生業の再建、地域社会・地域経済の再生に向けて～

鈴木　浩 著

自治体研究社

福島第一原子力発電所事故による原発災害から10年。被災者の生活再建と、被災地の地域社会の再生はどこまで進んだのか。被災者、被災地そして自治体のいままでの取組みとこれからの方策を語る。

日本経済新聞 2023/01/14

2021:12./ 296p
978-4-88037-734-6
¥3,520〔税込〕

亡命トンネル29～ベルリンの壁をくぐり抜けた者たち～

ヘレナ・メリマン 著

河出書房新社

1962年、冷戦下の夏のドイツ。学生のヨアヒムは、ベルリンの壁の下にトンネルを掘る計画を立て…。亡命者を逃すため、西から東へベルリンの地下を掘った若者たちの、大胆不敵で命がけの脱出作戦を描いたノンフィクション。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:10./ 405p
978-4-309-22867-9
¥3,740〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

デモクラシーの現在地～アメリカの断層から～

青山直篤 著
みすず書房
トランプ・バイデン政権期の激動の 4 年を現地で追った新聞記者が、19 世紀フランスの思想家トクヴィルの観察記を手がかりに超大国の素顔に迫る。さらに、「存在の根幹にアメリカが深く関わる国」日本の針路をも問う。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:10./ 296p,8p
978-4-622-09545-3
¥2,970〔税込〕

THE WORLD FOR SALE～世界を動かすコモディティー・ビジネスの興亡～

ハビアー・ブラス／ジャック・ファーキー 著
日経ＢＰ社
世界の資源ビジネスを牛耳り、政治、権力、マネーをも左右する、謎に包まれたコモディティー商社。秀でた能力で世界政治・経済の構造変化の波に巧みに乗り、莫大な利益を獲得してきたトレーダーたちの歴史と現在を描き出す。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:10./ 460p
978-4-296-11547-1
¥3,080〔税込〕

政府債務

森田 長太郎 著
東洋経済新報社
そもそもなぜここまで政府債務は膨張したのか? 国債市場分析の第一人者が、政府破綻についての基本的な考え方や、金融実務の観点から捉えた政府債務、貨幣と政府債務の関係などをダイナミックに解説する。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:12./ 355p
978-4-492-73363-9
¥1,980〔税込〕

ハッピークラシー～「幸せ」願望に支配される日常～

エドガー・カバナス／エヴァ・イルーズ 著
みすず書房
社会に溢れる「幸せ」を追求するメッセージと、最高の自分を手に入れるために売り込まれる自己啓発、コーチング、感情商品。新自由主義経済と自己責任社会を密かに支える「幸せ」ビジネスを考察した、フランス発の先駆的研究。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:11./ 210p,31p
978-4-622-09549-1
¥3,740〔税込〕

情報セキュリティの敗北史～脆弱性はどこから来たのか～

アンドリュー・スチュワート 著
白揚社
個人情報の大規模漏洩、米・中・露のハッキング戦争、ランサムウェアによる身代金要求…。システムにはなぜ危険が増え続けるのか。IT の黎明期からクラウドコンピューティングに至るまで、情報セキュリティの歴史を網羅する。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:10./ 406p
978-4-8269-0243-4
¥3,300〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

純粋な人間たち

モハメド・ムブガル＝サール 著
英治出版
この国で居場所がないのは、同性愛者だけ-。実際に起こった事件を題材にセネガル社会のタブーに切りこみ、集団の正義のために暴力を行使する人間の根源的な愚かさと、社会から排斥されることへの潜在的な恐怖を克明に描く。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:12./ 229p
978-4-86276-312-9
¥2,530〔税込〕

領域を超えない民主主義～地方政治における競争と民意～

砂原　庸介 著
東京大学出版会
地方政府は広がる都市の問題を解決できるのか。住民投票は地方の究極の民主主義なのか。日本の地方政治が抱える構造的問題を抉り出し、解決の糸口まで示唆する。注目の研究者による鋭利な地方政治論。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:11./ 5p,237p
978-4-13-030187-9
¥3,520〔税込〕

福島原発事故被災者苦難と希望の人類学～分断と対立を乗り越えるために～

辻内　琢也／トム・ギル 著
明石書店
福島原発事故から 11 年。人間が引き起こした災害は戦後最大の「国内避難民」を生み、人々の生活に深い分断と苦悩をもたらし続けている。国内外の人類学者らが当事者とともに、隠蔽された社会構造を読み解く。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:10./ 415p
978-4-7503-5469-9
¥4,950〔税込〕

福島復興の到達点～原子力災害からの復興に関する 10 年後の記録～

川﨑 興太 著
東信堂
福島原発事故が発生してからの 10 年間における福島復興政策の展開や、その結果としての復興の到達点を多角的に分析。福島復興に向けた課題を明らかにし、国民全体で総合的な検証を行う必要性を論じる。

日本経済新聞 2023/01/14

2022:11./ 6p,316p
978-4-7989-1790-0
¥4,730〔税込〕

ゆるい職場～若者の不安の知られざる理由～(中公新書ラクレ　781)

古屋星斗 著
中央公論新社
日本企業の労働環境は働きやすいものへと変わりつつあるが、若手社員の離職率はむしろ上がっており、当の若者たちからは不安の声が出ている。企業や日本社会が抱えるこの課題と解決策について、データと実例を交え解説する。

日本経済新聞 2023/01/14、朝日新聞 2023/01/28

2022:12./ 254p
978-4-12-150781-5
¥990〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

旅する漱石と近代交通～鉄道・船・人力車～(平凡社新書　1015)

小島　英俊 著

平凡社

夏目漱石が生きた時代は、近代交通が発展した時期と重なる。開通したての鉄道での学生旅行、下宿生活で自転車の練習、アクロバット飛行の見物…。日記や小説の描写を通じ、「交通」という軸で文豪の生涯をたどる。

日本経済新聞 2023/01/14、読売新聞 2023/01/29

2022:11./ 262p
978-4-582-86015-3
¥1,034〔税込〕

愛と情熱の山田うどん～まったく天下をねらわない地方豪族チェーンの研究～(河出文庫　き 10-2)

北尾 トロ／えのきど いちろう 著

河出書房新社

関東ローカル&埼玉県民のソウルフード・山田うどんへの愛を身体に甦らせた北尾トロ・えのきどいちろう。とことん山田を探究し続けた 10 年間の成果を凝縮する。

日本経済新聞 2023/01/14、日本経済新聞 2023/01/21、読売新聞 2023/01/22

2022:12./ 282p
978-4-309-41936-7
¥979〔税込〕

翔ぶが如く<1>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

明治六年、「征韓論」を主唱した西郷隆盛と大久保利通の衝突は、ついに国の存亡を賭けた抗争にまで沸騰してゆく。長篇小説全十冊

日本経済新聞 2023/01/21

2002:2./ 346p
978-4-16-710594-5
¥726〔税込〕

夜と霧　新版

ヴィクトール・E.フランクル 著

みすず書房

心理学者、強制収容所を体験する－。飾りのないこの原題から、永遠のロングセラーは生まれた。原著の改訂版である 1977 年版にもとづき、新たな訳者で新編集。人間の偉大と悲惨をあますところなく描く。

日本経済新聞 2023/01/21

2002:11./ 169p
978-4-622-03970-9
¥1,650〔税込〕

世に棲む日日<１>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

幕末、長州藩は突如、倒幕へと暴走した。その原点に立つ吉田松陰と弟子高杉晋作を中心に、変革期の人物群を鮮やかに描き出す長篇

日本経済新聞 2023/01/21

2003:3./ 313p
978-4-16-766306-3
¥715〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

アンネの日記　増補新訂版

アンネ・フランク 著
文藝春秋
自分用と公開用の二種の日記に父親が削った部分を加えて成った「完全版」に、新たに発見された日記を追加。今明かされる親への思い。

日本経済新聞 2023/01/21

2003:4./ 600p
978-4-16-359610-5
¥2,090〔税込〕

沈黙の春　改版(新潮文庫)

レイチェル・カーソン 著
新潮社
自然を忘れた現代人に魂のふるさとを思い起こさせる美しい声と、自然を破壊し人体を蝕む化学薬品の浸透、循環、蓄積を追究する冷徹な眼、そして、いま私たちは何をなすべきかを訴えるたくましい実行力。三つを備えた、自然保護と化学物質公害追及の先駆的な本がこれだ。

日本経済新聞 2023/01/21

2004:6./ 394p
978-4-10-207401-5
¥781〔税込〕

生き方～人間として一番大切なこと～

稲盛　和夫 著
サンマーク出版
人間として正しい生き方を志し、ひたすら貫きつづける。それが、いま私たちにもっとも求められている－。混迷の時代に打ち込む、「生き方」という一本の杭。京セラと KDDI を創業した著者が語りつくす、人生哲学の集大成。

日本経済新聞 2023/01/21

2004:7./ 246p
978-4-7631-9543-2
¥1,870〔税込〕

三国志<1>　新装版(講談社文庫)

吉川 英治 著
講談社
2 世紀末、中国後漢末期、政治は腐敗し、黄巾賊が各地にはびこって、民衆は苦しんでいた。青年劉備は、同志関羽、張飛と桃園で義盟を結び、世を救うことを誓う。ここに百年に亘る治乱興亡の壮大なドラマの幕が開く。吉川英治の名著『三国志』本編のみをまとめた新装版。

日本経済新聞 2023/01/21

2008:10./ 727p
978-4-06-276186-4
¥1,210〔税込〕

法句経講義(講談社学術文庫)

友松 圓諦 著
講談社
仏教再認識の機運を盛り上げ、昭和の仏教革新運動の起点となった本書は、いまなおわれわれに、仏教の真髄が何であるかを教えてくれるとともに、人生というものは豊かな意義深いものであると認識させてくれる。

日本経済新聞 2023/01/21

1981:3./ 413p
978-4-06-158533-1
¥1,375〔税込〕

論語(岩波文庫　青 202-1)

1999:11./ 406p
978-4-00-332021-1
¥1,177〔税込〕

岩波書店
古代中国の大古典「四書」のひとつで、孔子とその弟子たちの言行を集録したもの。古い道徳主義のイメージをもつ人もあろうが、人間として守るべきまた行うべき、しごく当り前のことが簡潔な言葉で記されている。

日本経済新聞 2023/01/21

霧の旗　改版(新潮文庫)

2003:9./ 353p
978-4-10-110920-6
¥693〔税込〕

松本 清張 著
新潮社
兄が殺人犯の汚名のまま獄死した時、桐子は依頼を退けた弁護士に対する復讐を開始した。法と裁判制度の限界を鋭く指摘した野心作。

日本経済新聞 2023/01/21

大地の子<1>(文春文庫)

1994:1./ 387p
978-4-16-755601-3
¥759〔税込〕

山崎 豊子 著
文芸春秋
日本人戦争孤児で、中国人の教師に養育された陸一心。肉親の情と中国への思いの間で揺れる青年の苦難の旅路を、戦争や文化大革命などの歴史を背景に壮大に描く大河小説。（清原康正）

日本経済新聞 2023/01/21

青春の蹉跌　改版(新潮文庫)

1992:11./ 260p
978-4-10-101522-4
¥572〔税込〕

石川 達三 著
新潮社
生きることは闘いだ、他人はみな敵だ－貧しさゆえに充たされぬ野望をもって社会に挑戦し、挫折していく青年の悲劇を描く長編。

日本経済新聞 2023/01/21

坂の上の雲<1>　新装版(文春文庫)

1999:1./ 350p
978-4-16-710576-1
¥803〔税込〕

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

日本経済新聞 2023/01/21

嫌われる勇気～自己啓発の源流「アドラー」の教え～

岸見　一郎、古賀　史健 著
ダイヤモンド社
どうすれば人は幸せに生きることができるかという哲学的な問いに、きわめてシンプルかつ具体的な答えを提示する「アルフレッド・アドラーの思想(アドラー心理学)」について、青年と哲人の対話形式を用いてまとめる。

日本経済新聞 2023/01/21

2013:12./ 294p
978-4-478-02581-9
¥1,650〔税込〕

八十路から眺めれば(草思社文庫 カ 1-1)

マルコム・カウリー 著
草思社
五、六十代では見えない、老いの悪徳と美徳、老人だけに許される愉しみ、そして人生の深い味わいを、八十路を迎えた著者が滋味豊かに綴る。深く確かな洞察力と人生経験に裏打ちされた本物の老人エッセー。

日本経済新聞 2023/01/21

2015:10./ 137p
978-4-7942-2158-2
¥770〔税込〕

幸せになる勇気(自己啓発の源流「アドラー」の教え 2)

岸見　一郎、古賀　史健 著
ダイヤモンド社
幸福への道を、わたしたちは具体的にどのように歩んでいけばいいのか? アルフレッド・アドラーの思想(アドラー心理学)を、「青年と哲人の対話篇」という物語形式を用いてまとめる。

日本経済新聞 2023/01/21

2016:2./ 293p
978-4-478-06611-9
¥1,650〔税込〕

我が心は石にあらず(河出文庫 た 13-19)

高橋 和巳 著
河出書房新社
エリート社員で組合のリーダー信藤は、妻子ある身で不毛な愛を続けている。組合の運動が緊迫し、女が妊娠するなかで、危険な破滅への意志が蘇り…。高度経済成長と「政治の時代」のなか、志の可能性を深く問う名作。

日本経済新聞 2023/01/21

2017:8./ 427p
978-4-309-41556-7
¥1,320〔税込〕

これが人間か　改訂完全版(朝日選書　965)

プリーモ・レーヴィ 著
朝日新聞出版
飢えと寒さ、不潔な寝床、病い、死にゆく人々…。ナチスのユダヤ人強制収容所から生還した著者が人間の極限状態を克明に描いた名著「アウシュヴィッツは終わらない」の改訂完全版。

日本経済新聞 2023/01/21

2017:10./ 314p
978-4-02-263065-0
¥1,650〔税込〕

マンガでわかる!人工知能～AI は人間に何をもたらすのか～(Informatics & IDEA)

ＳＢクリエイティブ

人工知能とは何か? 仕事や生活をどう変えるのか? 歴史から活用まで、人工知能の基本的な知識をマンガのストーリーを通して紹介。「ニューラルネットワーク」「シンギュラリティ」といった必須キーワードも解説する。

日本経済新聞 2023/01/21

2018:5./ 207p
978-4-7973-9254-8
¥1,430〔税込〕

日本人の勝算～人口減少×高齢化×資本主義～

デービッド・アトキンソン 著

東洋経済新報社

「日本人の優秀さ」こそ、この国の宝だ-。在日 30 年、日本を愛する伝説のアナリストが、日本経済に関する外国人エコノミストの論文等の分析結果から人口減少・高齢化の影響を検証し、日本人の未来を示す。

日本経済新聞 2023/01/21

2019:1./ 323p
978-4-492-39646-9
¥1,650〔税込〕

人生がときめく片づけの魔法<1>　改訂版

近藤　麻理恵 著

河出書房新社

「毎日少しずつの片づけ習慣」では一生片づかない。「場所別」はダメ、「モノ別」に片づけよう。「思い出品」から手をつけると必ず失敗する…。一度片づけたら絶対に元に戻らない「こんまりメソッド」を紹介。

日本経済新聞 2023/01/21

2019:2./ 277p
978-4-309-28722-5
¥1,210〔税込〕

リスキリング～自分のスキルをアップデートし続ける～

後藤 宗明 著

日本能率協会マネジメントセンター

世界が変わりビジネスも変わる、新たに必要なスキルを獲得し DX 人材に進化せよ! 新しいことを学び、スキルを身につけ実践し、新しい業務や職業に就く「リスキリング」を徹底解説。AI とロボットと人間の協働も紹介する。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:9./ 334p
978-4-8005-9047-3
¥2,035〔税込〕

キャンセルカルチャー～アメリカ、貶めあう社会～

前嶋 和弘 著

小学館

差別反対や平等性・公平性の確保のために、これまでの歴史や文化、習慣などを見直す行為「キャンセルカルチャー」。リベラルと保守の戦いから生まれたことば「キャンセルカルチャー」を縦軸にして、アメリカの現在を読み解く。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:10./ 255p
978-4-09-388844-8
¥1,760〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

言語はこうして生まれる～「即興する脳」とジェスチャーゲーム～

モーテン・H・クリスチャンセン／ニック・チェイター 著
新潮社
ジェスチャーゲームさながら、言語は絶えず任意の瞬間に「発明」されては、またゲームをするたびに新たに発明される。心理学や神経科学、コンピュータサイエンスなどの多様な知見を統合し、言葉の真の姿を解き明かす。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:11./ 327p,49p
978-4-10-507311-4
¥2,970〔税込〕

コード・ブレーカー～生命科学革命と人類の未来～<下>

ウォルター・アイザックソン 著
文藝春秋
ゲノム編集技術を手にした人類は、自らの種を改変するのか。ノーベル賞科学者ジェニファー・ダウドナを主人公に、「IT 革命」を超える「生命科学革命」の全貌を描く。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:11./ 357p
978-4-16-391625-5
¥2,475〔税込〕

コード・ブレーカー～生命科学革命と人類の未来～<上>

ウォルター・アイザックソン 著
文藝春秋
人類の未来を左右するイノベーション、ゲノム編集技術クリスパーは、いかにして誕生したか。ノーベル賞科学者ジェニファー・ダウドナを主人公に、「IT 革命」を超える「生命科学革命」の全貌を描く。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:11./ 333p
978-4-16-391624-8
¥2,475〔税込〕

じゃむパンの日

赤染晶子 著
ｐａｌｍｂｏｏｋｓ
時を超えて。生まれ育った京都へのおもい。こぼれだす笑い-。芥川賞作家で、2017年に早逝した著者によるエッセイ集。表題作をはじめ、「知ってるねん」など全55篇を収録。岸本佐知子との「交換日記」も併録。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:12./ 202p
978-4-910976-00-6
¥1,980〔税込〕

親子は生きづらい～“トランスジェンダー”をめぐる家族の物語～

勝又　栄政／東畑　開人／清水　晶子／佐々木　掌子 著
金剛出版
トランスジェンダーの僕と母が肉声で語るそれぞれの人生は、やがて予期せぬ軌道を描く-。トランスジェンダーの医療概念と社会通念の変遷、家族を取り巻く社会構造の変容に翻弄されながら交差する、ひとつの家族の小さな物語。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:12./ 374p
978-4-7724-1934-5
¥3,740〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

死者は生者のなかに～ホロコーストの考古学～

西成彦 著
みすず書房
I・B・シンガー、プリモ・レーヴィ…。ポーランド文学・イディッシュ語文学の碩学泰斗による「ホロコースト一世」の著作をメインに据えたホロコースト文学論。『みすず』掲載を加筆し単行本化。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:12./ 234p,8p
978-4-622-09546-0
¥4,180〔税込〕

傷つきやすいアメリカの大学生たち～大学と若者をダメにする「善意」と「誤った信念」の正体～

ジョナサン・ハイト／グレッグ・ルキアノフ 著
草思社
暴力を伴う講演妨害、教授を糾弾し罵倒…。Z 世代の入学とともに始まった、アメリカの大学の異常事態。言論と学問の自由を揺るがす現象の実態から背景、対策までを解説。キャンセルカルチャー、ポリコレ問題を知るための一冊。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:12./ 457p
978-4-7942-2615-0
¥3,080〔税込〕

辞書編集、三十七年(草思社文庫 か 8-2)

神永 暁 著
草思社
辞書編集とは“刑罰”である。辞書編集ひと筋 37 年、「日本国語大辞典」の元編集長による苦難と歓喜の回想録。「辞書と闇社会の深い関係」「「ともかく」と「とにかく」はどう違うか」など、興味深い辞書と日本語話が満載。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:12./ 325p
978-4-7942-2621-1
¥990〔税込〕

シチリアの奇跡～マフィアからエシカルへ～(新潮新書 978)

島村 菜津 著
新潮社
みかじめ料不払い運動に反マフィア観光ツアー、有名ピザ屋が恐喝者を取り押さえ、押収された土地が有機ワイン農場に…。“マフィアの島”シチリアをエシカル消費の先進地に変えた、諦めない人びとのしなやかな戦いを伝える。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:12./ 239p
978-4-10-610978-2
¥902〔税込〕

アニメ療法～心をケアするエンターテインメント～(光文社新書 1235)

パントー・フランチェスコ 著
光文社
日本のポップカルチャーの力で、心を治癒することはできるか。イタリア出身のオタク精神科医が、精神医学や心理学の知見を物語療法と接続し、新しい「アニメ療法」を提唱する。

日本経済新聞 2023/01/21

2022:12./ 252p
978-4-334-04642-2
¥968〔税込〕

竜馬がゆく<1>(文春文庫)

司馬 遼太郎 著
文芸春秋
青春小説の名作が読みやすくなって再登場。前半は、奥手だった幼年期から、剣術修行、脱藩、勝海舟との出会いと海軍塾設立までを描く

1998:9./ 446p
978-4-16-710567-9
¥825〔税込〕

日本経済新聞 2023/01/21、読売新聞 2023/01/29

学校するからだ

矢野利裕 著
晶文社
広島出身ではないのに広島弁を操るヤクザ的風貌の生活指導。肝心なところで噛んでしまう著者自身…。現役教員が学校のなかの<からだ>と<ことば>が躍動する瞬間を拾い集めた、異色の<学校×身体>ノンフィクション。

2022:12./ 298p
978-4-7949-7343-6
¥1,980〔税込〕

日本経済新聞 2023/01/21、読売新聞 2023/01/29

ジャパンタウン

バリー・ランセット、白石　朗 著
ホーム社
ジャパンタウンというショッピングモールで日本人一家が惨殺される事件が発生。現場には、謎の漢字一文字が記された血まみれの紙片が残されており…。日本通の私立探偵ブローディが活躍するハードボイルド・シリーズ第 1 弾。

2019:12./ 557p
978-4-8342-5334-4
¥3,520〔税込〕

日本経済新聞 2023/01/28

NIPPONIA 地域再生ビジネス～古民家再生から始まる持続可能な暮らしと営み～

藤原岳史 著
プレジデント社
“なつかしくて、あたらしい”分散型エリア開発事業とは? まちづくり事業「NIPPONIA」についてのノウハウと、その事業を通して得た、地域で仕事をするときに大事なポイントや必要な考え方を、実例を交えまとめる。

2022:10./ 211p
978-4-8334-2423-3
¥1,870〔税込〕

日本経済新聞 2023/01/28

スキー場は夏に儲けろ!～誰も気づいていない「逆転ヒット」の法則～

和田 寛 著
東洋経済新報社
スキー客が激減し、インバウンドもコロナで消滅。衰退する一方の白馬岩岳が、わずか 2 年で「夏に稼ぐ」スキー場に変わった! お金はなくても「知恵」と「工夫」で、バズらせて稼ぐ「逆転発想」メソッドを紹介する。

2022:11./ 270p
978-4-492-50338-6
¥1,760〔税込〕

日本経済新聞 2023/01/28

MARUZEN-YUSHODO

湯あがりみたいに、ホッとして

塩谷歩波 著
双葉社
設計事務所から転職し、「番頭兼イラストレーター」として活躍した銭湯を退職、画家として独立した著者。読むとホッとして、ちょっとだけ前に進む気持ちになれるエッセイ集。双葉社文芸総合サイト『カラフル』連載を書籍化。

日本経済新聞 2023/01/28

2022:11./ 221p
978-4-575-31755-8
¥1,705〔税込〕

世界の絶滅危惧食

ダン・サラディーノ 著
河出書房新社
人類が長い年月をかけて築いてきた食文化や食物の多くが絶滅の危機に瀕している。世界各地の 34 の「絶滅危惧食」と、それらを絶滅から救おうとしている人々の物語を、環境破壊などの問題とともに描き出す。

日本経済新聞 2023/01/28

2022:11./ 481p,44p
978-4-309-22874-7
¥3,960〔税込〕

樋口一葉赤貧日記

伊藤氏貴 著
中央公論新社
貧乏なのに、紙幣の顔。生まれは裕福、晩年は借金三昧…。24 歳で貧苦の内にこの世を去った樋口一葉は、いくら稼ぎ、いくら借り、何を買い、何を思ったのか? 金銭事情を通して、その人物と作品とを繙く。

日本経済新聞 2023/01/28

2022:11./ 329p
978-4-12-005598-0
¥2,420〔税込〕

トーキョー・キル

バリー・ランセット 著
ホーム社
東京の事務所に命を狙われているので身辺警護をしてほしいという旧日本軍兵士だった男が現れ…。各地を駆け巡って知られざる日中戦争の歴史の闇に迫る。日本通の私立探偵ブローディが活躍するハードボイルド・シリーズ第 2 弾。

日本経済新聞 2023/01/28

2022:11./ 442p
978-4-8342-5366-5
¥3,300〔税込〕

世界を変えたブランド広告

杉山恒太郎 著
日経ＢＰ社
優れたブランド、長く愛される企業の広告はどこが違うのか。時代を創った歴代の傑作キャンペーンからエッセンスを抽出、ブランド・コミュニケーションのノウハウを伝授する。『日本経済新聞』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

日本経済新聞 2023/01/28

2022:12./ 182p
978-4-296-11603-4
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ブレトンウッズ体制の終焉～キャンプ・デービッドの 3 日間～

ジェフリー・ガーテン 著
勁草書房
1971 年 8 月 15 日、キャンプ・デービッドでの議論を踏まえ、ニクソン大統領は金とドルの固定相場による交換を放棄した。国際金融システムに大変革をもたらしたニクソンの決断はいかに為されたか、その全貌に迫る。

日本経済新聞 2023/01/28

2022:12./ 8p,371p,48p
978-4-326-55091-3
¥4,400〔税込〕

そして五人がいなくなる(講談社青い鳥文庫)

はやみね かおる／村田 四郎 著
講談社
夢水清志郎は名探偵。だけどもの忘れの名人で、ちょっとたよりない。おまけにものぐさでマイペース。そんな名(迷)探偵が挑む『伯爵』事件。犯人は銀色の目の『伯爵』と名乗る怪人。子どもたちが人々の前から消えていく。謎は解けるか。

毎日新聞 2023/01/07

1994:2./ 275p
978-4-06-147392-8
¥825〔税込〕

家～ごはんと野球～

亜希 著
ＣＣＣメディアハウス
毎日のごはん、家族、仕事…。モデル、アパレルブランドのディレクションとして活躍する亜希が綴る 8 年間の日常の記録。心情を吐露したコラム、息子たちのインタビューも収録する。Instagram 掲載を加筆修正。

毎日新聞 2023/01/07

2022:11./ 287p
978-4-484-22220-2
¥1,815〔税込〕

松田正隆<1> 夏の砂の上/坂の上の家/蝶のやうな私の郷愁(ハヤカワ演劇文庫 52)

松田　正隆 著
早川書房
日常の裂け目から、生と死、都市の記憶が滲みだす作家の作品集。1 は、職を失い、妻に捨てられた治と、その姪の優子の、地方都市での共同生活を描く「夏の砂の上」をはじめ、初期代表作 3 篇を収録。

毎日新聞 2023/01/07

2022:10./ 399p
978-4-15-140052-0
¥1,980〔税込〕

自民党の統一教会汚染～追跡 3000 日～

鈴木 エイト 著
小学館
圧力に屈せず追及し続けたジャーナリストがたどり着いた真実をレポートする。旧統一教会関連団体と関係のあった国会議員 168 人のリストも収録。『ハーバー・ビジネス・オンライン』連載を軸に加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/01/07

2022:10./ 318p
978-4-09-380123-2
¥1,760〔税込〕

パラディーソ

ホセ・レサマ＝リマ 著
国書刊行会
一家に君臨するホセ・エウヘニオ大佐と、喘息持ちで鋭敏な感性を持つ長男ホセ・セミー。典雅で混成的なクリオーリョ文化が濃密に漂う革命前のキューバ社会を舞台に、5 世代にわたる一族の歴史を陰影深く彩り豊かに描く。

毎日新聞 2023/01/07

2022:9./ 608p
978-4-336-07384-6
¥4,620〔税込〕

太陽諸島

多和田 葉子 著
講談社
消えた故郷の島国を探して、仲間たちと船の旅に出た Hiruko。沿岸の港町で謎めいた人物が乗り込んできて…。言葉で結びついた仲間たちの時空を超えた出会いと冒険を描く。連作長篇 3 部作、完結。『群像』連載を単行本化。

毎日新聞 2023/01/07

2022:10./ 335p
978-4-06-529185-6
¥2,090〔税込〕

精進百撰

水上 勉 著
田畑書店
1989 年 6 月心筋梗塞で倒れて、足かけ 3 年の入院生活を送った著者が、退院後に試みた山居生活での精進料理の世界。土と遊び、畑と相談しながら調理した百品をこえる料理の数々を、レシピ、カラー写真付きで紹介する。

毎日新聞 2023/01/07

2022:10./ 225p
978-4-8038-0402-7
¥3,080〔税込〕

任務～松本清張未刊行短篇集～

松本清張 著
中央公論新社
単著・全集未収録だった松本清張の貴重な短篇を精選。自身の従軍体験を反映した表題作から、実在の事件をモデルにした作品まで、国民作家が終生問い続けたテーマ「組織・社会と個人との葛藤」を凝縮した全 10 篇を収録する。

毎日新聞 2023/01/07

2022:11./ 286p
978-4-12-005588-1
¥2,200〔税込〕

原爆の世界史～開発前夜から核兵器の拡散まで～

アンドリュー・J・ロッター 著
ミネルヴァ書房
広島・長崎への原爆投下は、いかにしてなされ、その後の世界にどのような影響を及ぼしたのか。19 世紀の黎明期から戦争を経て、今日の核保有へと至る道筋を膨大な先行研究を咀嚼し、明快に叙述する。

毎日新聞 2023/01/07

2022:11./ 11p,359p,65p
978-4-623-09432-5
¥6,050〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

ちとせ

高野知宙 著
祥伝社
明治 5 年。故郷丹後で天然痘にかかり失明の不安を抱えた少女ちとせは、鴨川でひとり三味線を弾いていた。素朴な調べに声をかけてきた俥屋の跡取り藤之助に誘われ、見知らぬ街をめぐり…。揺れ動く少女の葛藤と成長を描く。

毎日新聞 2023/01/07

2022:11./ 253p
978-4-396-63635-7
¥1,760〔税込〕

イノチノウチガワ～X 線写真で見る生き物の世界～

ヤン・パウル・スクッテン 著
実業之日本社
生命の不思議と魅力を内側からのぞいてみよう! 水中の騎士クルマエビ、どでかい舌を持つナマズ…。節足動物から魚類、爬虫類、鳥類、哺乳類まで、全 52 種の生き物たちの美しい X 線写真を掲載し、体の構造や生態を紹介する。

毎日新聞 2023/01/07

2022:12./ 127p
978-4-408-65016-6
¥2,860〔税込〕

日本に住んでる世界のひと

金井　真紀 著
大和書房
上野公園のチェリスト、カリブ海から来た語学の達人、ジェノサイドを経験した国の大使…。日本で暮らしている外国人 18 組 20 人にのんびりじっくり聞いた、カラーフルな物語を綴る。

毎日新聞 2023/01/07、朝日新聞 2023/01/14

2022:11./ 239p
978-4-479-39395-5
¥1,760〔税込〕

人を動かす　新装版

D・カーネギー 著
創元社
「人を動かす三原則」「人に好かれる六原則」「人を説得する十二原則」など、社会人として身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示する。あらゆる自己啓発の原点となった書の改訂版を訳した新装版。

毎日新聞 2023/01/14

1999:10./ 346p
978-4-422-10051-7
¥1,650〔税込〕

茨木のり子詩集(岩波文庫 31-195-1)

茨木　のり子、谷川　俊太郎 著
岩波書店
スパッと歯切れのいい言葉が断言的に出てくる、主張のある詩、論理の詩。素直な表現で、人を励まし奮い立たせてくれる、「現代詩の長女」茨木のり子のエッセンス。大岡信との対談も収録。

毎日新聞 2023/01/14

2014:3./ 397p
978-4-00-311951-8
¥770〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

よむうつわ～茶の湯の名品から手ほどく日本の文化～<上>

ロバートキャンベル 著
淡交社
作家自身が人間国宝であるもの、数百年前に天下人からその家臣の手へ渡ったもの、古物の収集に身を投じた者たちの愛した得がたい器…。美術館の茶の湯の名品を実見。確かな見識に基づく感慨を綴る。『淡交』連載を基に書籍化。

毎日新聞 2023/01/14

2022:10./ 319p
978-4-473-04513-3
¥4,180〔税込〕

仕事をつくる　改訂新版(私の履歴書)

安藤忠雄 著
日経ＢＰ社
学歴も社会的基盤もない。仕事は自分でつくらなければならない-。独学の建築家が、気力、集中力、目的意識、強い思いを持つことで、自らに課したハードルを越えてきた半生をつづる。代表作品のカラー写真も収録。

毎日新聞 2023/01/14

2022:8./ 270p
978-4-296-11463-4
¥2,145〔税込〕

古代ギリシアの民主政(岩波新書 新赤版 1943)

橋場 弦 著
岩波書店
民主政はどのように生まれ、発展し、消え去ったか。どんなしくみで動いていたのか。2000 年以上も前に史上から消えたとされる民主政が、どのような形で近代に復活し、現代に至ったのか。研究成果を織り込みながら論考する。

毎日新聞 2023/01/14

2022:9./ 3p,245p,11p
978-4-00-431943-6
¥990〔税込〕

新・哲学入門(講談社現代新書 2676)

竹田 青嗣 著
講談社
すべての基礎は欲望である-。現代思想の行きづまりを打破し、新たな哲学の扉を開く、哲学の入門書。哲学の本質、幻想的身体論、「きれい-きたない」審級、芸術美などについて考察する。

毎日新聞 2023/01/14

2022:9./ 333p
978-4-06-529507-6
¥1,210〔税込〕

よむうつわ～茶の湯の名品から手ほどく日本の文化～<下>

ロバート キャンベル 著
淡交社
洒落心溢れる京焼の優品、もとは茶碗ではなかった松平不昧愛蔵の大名物、侘びの美観により見出された渡来品…。美術館の茶の湯の名品を実見。確かな見識に基づく感慨を綴る。『淡交』連載を基に書籍化。

毎日新聞 2023/01/14

2022:12./ 319p
978-4-473-04514-0
¥4,180〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

歴史の屑拾い

藤原 辰史 著
講談社
こぼれ落ちた断片の生が、大きな物語に回収されないように。戦争体験者の言葉、大学生への講義、語り手と叙述…。研究者である自身に問いかけながらの試行錯誤と、思索を綴るエッセイ集。『群像』連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2023/01/14

2022:10./ 202p
978-4-06-529371-3
¥1,540〔税込〕

光のとこにいてね

一穂 ミチ 著
文藝春秋
古びた団地の片隅で出会った結珠と果遠。ふたりは何もかもが違った。着るものも食べる物も住む世界も-。ひとつの愛に惑うふたりの四半世紀の物語。『別冊文藝春秋』連載を書籍化。

毎日新聞 2023/01/14

2022:11./ 462p
978-4-16-391618-7
¥1,980〔税込〕

サイボーグになる～テクノロジーと障害,わたしたちの不完全さについて～

キム・チョヨプ／キム・ウォニョン 著
岩波書店
不完全さを抱えたままで、よりよく生きていくための技術とは? SF 作家キム・チョヨプと、作家・弁護士・パフォーマーのキム・ウォニョン。ともに障害当事者である 2 人が、私たちの身体性とテクノロジーについて縦横に語る。

毎日新聞 2023/01/14

2022:11./ 15p,299p
978-4-00-061567-9
¥2,970〔税込〕

生成と消滅の精神史～終わらない心を生きる～

下西 風澄 著
文藝春秋
ソクラテスが心を神から切り離して以後、人類の心は何度も作り直されてきた。そもそも心とはなんであったのか? 学問領域を大胆に横断しながら紡ぎ出される、3000 年の心の歴史。

毎日新聞 2023/01/14

2022:12./ 522p
978-4-16-391637-8
¥2,970〔税込〕

流山がすごい(新潮新書 979)

大西 康之 著
新潮社
6 年連続人口増加率全国トップの千葉県流山市。「子育て中の共働き世代」に的を絞った政策から人材活用、産業振興、都市計画、環境保全まで、あらゆるテーマを同時並行で推し進めている。徹底取材で流山市の魅力と秘密に迫る。

毎日新聞 2023/01/14

2022:12./ 206p
978-4-10-610979-9
¥858〔税込〕

キッチンからカーネギー・ホールへ～エセル・スタークとモントリオール女性交響楽団～

マリア・ノリエガ・ラクウォル 著
ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス
オーケストラが女人禁制だった 1940 年代。カナダで自ら指揮棒を持ち、女性たちだけでオーケストラを立ち上げたエセル・スタークと、スタークによって結成されたモントリオール女性交響楽団の勇気と奮闘を綴る。

毎日新聞 2023/01/14、日本経済新聞 2023/01/28

2022:11./ 282p,20p
978-4-636-10271-0
¥2,530〔税込〕

モモ(ミヒャエル・エンデの本)

岩波書店
時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語。時間に追われ、人間本来の生き方を忘れてしまっている現代の人々に、風変りな少女モモが時間の真の意味を気づかせます。

毎日新聞 2023/01/21

1976:9./ 360p
978-4-00-110687-9
¥1,870〔税込〕

天幕のジャードゥーガル<1>(ボニータ・コミックス)

トマトスープ 著
秋田書店
13 世紀、地上最強の大帝国「モンゴル帝国」の捕虜となり、後宮に仕えることになった女・ファーティマは、当時世界最高レベルの医療技術や科学知識を誇るイランの出身。その知識と知恵を持ち、自分の才能を発揮できる世界を求めていたファーティマは、第 2 代皇帝・オゴタイの第 6 夫人でモンゴル帝国に複雑な思いを抱く女・ドレゲネと出会う──。

毎日新聞 2023/01/21

2022:8./ 192p
978-4-253-26446-4
¥660〔税込〕

ミャンマー「春の革命」～問われる<平和国家>日本～

永井浩 著
社会評論社
エンゲージド・ブッディズムがめざす平和・民主主義・豊かさとは何か? アウンサンスーチーに伴走してきたジャーナリストが、日本政府と軍政の共犯関係を追究し、問題の歴史的背景に迫る。

毎日新聞 2023/01/21

2022:7./ 238p
978-4-7845-1378-9
¥1,980〔税込〕

スギと広葉樹の混交林～蘇る生態系サービス～

清和　研二 著
農山漁村文化協会
水質浄化、持続的な生産力、洪水や渇水防止、クマを留めておくなどの「生態系サービス」を高める森のかたちを科学的に解明。あわせて天然更新と人工植栽による持続可能な混交林づくりの具体的方法を示す。

毎日新聞 2023/01/21

2022:9./ 203p
978-4-540-21158-4
¥2,750〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

日本中世の民衆世界～西京神人の千年～(岩波新書 新赤版　1942)

三枝 暁子 著
岩波書店
さまざまな社会集団や権力が併存し、強大な力をもつ幕府が統合・支配した日本の中世。千年の命脈を現代にまで保つ京都・西京神人に焦点をあて、生業と祭祀を紐帯に、苛烈な世界をたくましく生き抜いた民衆の姿を描く。

毎日新聞 2023/01/21

2022:9./ 17p,197p
978-4-00-431942-9
¥968〔税込〕

首相が撃たれた日に

ウズィ・ヴァイル 著
河出書房新社
首相が撃たれた日、僕は泊まる場所を探していて、事件をまったく知らなった。テロ、戦争、軍隊生活、ホロコースト…。過酷な過去と現実を生きるイスラエルの若者たちを、諧謔とペーソスとともに描きだす短篇傑作選。

毎日新聞 2023/01/21

2022:10./ 244p
978-4-309-20868-8
¥3,190〔税込〕

中国パンダ外交史(講談社選書メチエ　773)

家永 真幸 著
講談社
蔣介石の対米工作、周恩来の日中国交回復、習近平の一帯一路構想…。パンダの価値に気付いた中国政府が国際政治にパンダを利用し始めた過程を解説し、パンダがどのような役割を果たしているのか考察する。

毎日新聞 2023/01/21

2022:10./ 201p
978-4-06-529727-8
¥1,760〔税込〕

綿の帝国～グローバル資本主義はいかに生まれたか～

スヴェン・ベッカート 著
紀伊國屋書店出版部
綿の歴史は資本主義の歴史であり、常に暴力と強制を伴っていた-。約5千年前のインドでつくり始められた綿糸や綿布。5大陸にわたる綿とそれに関わる人々の歩んだ道をたどり、現代世界の成り立ちと資本主義の本質を追究する。

毎日新聞 2023/01/21

2022:12./ 848p
978-4-314-01195-2
¥4,950〔税込〕

大きな大きな大きな足あと～もし全人類がひとりの超巨人だったら～

ロブとトム・シアーズ 著
創元社
人類すべてを合体させて、超巨人を作ってみる。それほど賢くはない<合体人間>は、少しずつ気づき始める。自分たちが地球の未来に、どんな問題を引き起こしてしまったかを…。ユニークな発想で人類の自己発見の旅を描く。

毎日新聞 2023/01/21

2022:11.
978-4-422-76071-1
¥2,420〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

世界インフレの謎(講談社現代新書　2679)

渡辺 努 著
講談社
グローバリズムが反転しはじめ、物価と経済の在り方が激変する! そして、日本だけが苦しむ「2 つの病」とは? 物価理論の第一人者が世界インフレという難問に格闘しながら、その核心を徹底考察する。

毎日新聞 2023/01/21

2022:10./ 269p
978-4-06-529438-3
¥990〔税込〕

世界遺産の 50 年～文化の多様性と日本の役割～

松浦 晃一郎／岩槻 邦男／五十嵐 敬喜／西村 幸夫／藤岡 麻理子 著
ブックエンド
世界遺産条約採択から 50 年。世界遺産をめぐる日本と世界の動きにさまざまなかたちで関わってきた第 8 代ユネスコ事務局長ら 4 人が、それぞれの立場から世界遺産の現在とこれまで、そしてこれからを論ずる。

毎日新聞 2023/01/21

2022:10./ 256p,6p
978-4-907083-78-6
¥2,530〔税込〕

ふしぎで美しい水の図鑑～水のさまざまな表情をたのしむ～

武田 康男 著
緑書房
姿を変えて世界を彩る水。川、湖沼、地下水、温泉、渦潮、雲、雨、雪、氷、霜、霧-。水がつくる豊かな姿を、美しい写真とともに紹介する。簡単な実験、気象用語の解説、環境問題などを取り上げたコラムも掲載。

毎日新聞 2023/01/21

2022:11./ 142p
978-4-89531-865-5
¥2,200〔税込〕

残留兵士の群像～彼らの生きた戦後と祖国のまなざし～

林　英一 著
新曜社
敗戦後、東南アジアの各地には帰国を断念して現地に残る選択をした多くの日本兵が存在した。ドキュメンタリーや映画など残留兵士に関する映像を分析し、典型的な残留兵士の在り方と表象の時期的な変遷を明らかにする。

毎日新聞 2023/01/21

2023:1./ 344p
978-4-7885-1793-6
¥3,740〔税込〕

絵画の素～TOPICA PICTUS～

岡崎 乾二郎 著
岩波書店
絵をみることは、そのたびに絵を新たに発見すること。何かを生み出すことは、よりよく思い出すこと-。造形作家・批評家の岡崎乾二郎が<創作の秘密>を語る。web マガジン『たねをまく』連載を書籍化。

毎日新聞 2023/01/21、日本経済新聞 2023/01/28

2022:11./ 8p,459p,8p
978-4-00-061515-0
¥5,500〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

せとうちたいこさんデパートいきタイ(絵本・ちいさななかまたち)

長野　ヒデ子 著
童心社
タイのせとうちたいこさんは何でもやってみたいタイのおくさんです。「タイだって一度デパートに行ってみたい」と、ある日デパートに出かけました。デパートでワクワク楽しく買い物をしているうちに…。

毎日新聞 2023/01/28

1995:11./ 40p
978-4-494-00570-3
¥1,430〔税込〕

大ピンチずかん

鈴木 のりたけ 著
小学館
ガムを飲んだ! トイレの紙がない!? こどもが出あう世の中の様々な「大ピンチ」を、大ピンチレベルの大きさと、5段階のなりやすさで分類。レベルの小さいものから順番に掲載し、その対処法をユーモアたっぷりに紹介する。

毎日新聞 2023/01/28

2022:2./ 47p
978-4-09-725138-5
¥1,650〔税込〕

いま、この惑星で起きていること～気象予報士の眼に映る世界～(岩波ジュニア新書 954)

森 さやか 著
岩波書店
自然界に多大な影響・変化を及ぼし、人々の日常生活をも脅かす異常気象。気象予報士が、世界で起きている気象について、温暖化の問題を中心にわかりやすく解説し、今後の課題と解決策を考察する。『世界』連載にコラムを追加。

毎日新聞 2023/01/28

2022:7./ 10p,180p
978-4-00-500954-1
¥902〔税込〕

馬鹿ブス貧乏な私たちが生きる新世界無秩序の愛と性

藤森かよこ 著
ベストセラーズ
性的退却と人間関係の解体が進行した日本で、愛と性を諦めていない女性たちは本当の幸福を手に入れられるのか? 危機の時代の愛と性をいかに生きるべきかを、赤裸々に、愛をこめて、本音で説いた人生指南書。

毎日新聞 2023/01/28

2022:10./ 253p
978-4-584-13984-4
¥1,760〔税込〕

イツァーク～ヴァイオリンを愛した少年～

トレーシー・ニューマン 著
音楽之友社
イツァークは小さい頃からヴァイオリンを弾いてみたいと思っていました。ポリオにかかり足が不自由になってしまいましたが、その夢を諦めず…。障がいを乗り越えた、世界中で愛されるヴァイオリニストの少年時代を描く。

毎日新聞 2023/01/28

2022:9.
978-4-276-21330-2
¥1,980〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO

千年の歓喜と悲哀～アイ・ウェイウェイ自伝～

艾未未 著
KADOKAWA
文化大革命により追放された詩人の父と息子。時を経て中国を代表する現代美術家になった息子は、次々とアートを生み出しては当局に物議を醸し…。闘う 2 人の芸術家を通し、激変する中国の現代史を描いた自伝。

毎日新聞 2023/01/28

2022:12./ 381p 図版 16p
978-4-04-111963-1
¥2,970〔税込〕

街の牧師 祈りといのち

沼田和也 著
晶文社
ネットで誰もが石を投げあい、誰もが傷つけあう時代。宿を求めて男をラブホにさそう少女、完治が難しい疾病で苦しむ患者など、本気で救いを必要とする人びとと対話を重ねてきた牧師が語る、人と神との出遭いなおしの物語。

毎日新聞 2023/01/28

2022:11./ 270p
978-4-7949-7337-5
¥1,870〔税込〕

国商～最後のフィクサー葛西敬之～

森 功 著
講談社
国鉄分割民営化で革マルと手を組み、右派・日本会議の黒幕として安倍晋三を裏で操った JR 東海の「総帥」葛西敬之。巨大広告主ゆえに週刊誌ですら触れられなかった、その知られざる素顔に迫る。

毎日新聞 2023/01/28

2022:12./ 313p
978-4-06-524127-1
¥1,980〔税込〕

戦国日本の生態系～庶民の生存戦略を復元する～(講談社選書メチエ　777)

高木 久史 著
講談社
寒冷化を迎えた戦国時代、庶民はいかにサバイバルし、時代を動かしたのか。海・山・里の動植物が織りなす生態系と、そこから恵みを得て生活を営む人々の社会システムをひとつの系としてとらえ、戦国の動因を描き出す。

毎日新聞 2023/01/28

2023:1./ 293p
978-4-06-530681-9
¥2,200〔税込〕

記者のためのオープンデータ活用ハンドブック

熊田　安伸 著
新聞通信調査会
国の事業や予算、建設工事の受発注、不動産登記簿など、取材に役立つ情報を、素早く入手するテクニックを紹介する。ウェブメディア『SlowNews』連載を加筆し書籍化。各オープンデータにアクセスできる QR コード付き。

毎日新聞 2023/01/28

2022:12./ 237p
978-4-907087-24-1
¥770〔税込〕

MARUZEN-YUSHODO